

教 養 科 目

A. 一般教育科目

【人 文 系 列】

科 目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0001	哲 学 (特) 論 理 学 ・ 認 識 論	2	必	4	蒔 苗 暢 夫	神学科用
0002	哲 学 「心の哲学」の諸問題	2	必	4	戸 田 山 和 久	
0003	哲学概論と現代哲学				赤 松 宏	
0004	科 学 と 人 間				服 部 裕 幸	
0005	哲 学 入 門				大 鹿 一 正	
0006	哲 学 の 諸 問 題				山 田 弘 明	
0007	哲 学 概 論				谷 口 佳 津 宏	
0008	20 世 紀 の 知 識 論				牛 島 謙	
0009	ヨーロッパ近代哲学の 論理構造とその再検討				加 藤 泰 史	
0010	哲 学 概 論				大 滝 朝 春	
0011 0012	哲 学 の 世 界				本 多 英 太 郎	
0013	認 識 と 道 徳 の 諸 問 題				小 池 英 光	
	文 学	1・2	選	4		
0021	和 歌 を 読 む				大 谷 俊 太	
0022	『平家物語』講読				美 濃 部 重 克	
0023	浄瑠璃・歌舞伎研究				安 田 文 吉	
0024	中国現代文芸の諸相				中 裕 史	
0025	蘇 軾 の 文 学				山 本 和 義	
0026	小 説 を 読 む				細 谷 博	
0027	日本語の発音の歴史と 仮名遣い				進 藤 義 治	

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
	歴史	1・2	選	4		
0041 ・ 0043	八世紀の日本				新井喜久夫	日本史
0044					重松和男	東洋史
0045 0047 0050	近代ヨーロッパ史				R. Szimpl	西洋史
0046 0048 ・ 0049	ヨーロッパ中世史				岡地稔	西洋史
	美術	1・2	選	4		
0051	日本美術の流れ				池田洋子	東洋の美術
0052 ・ 0053	西洋の美術				江本菜穂子	西洋の美術
	音楽	1・2	選	4		
0054	音楽の歴史的流れに沿ってその時代的様式と音楽美を認識				水谷昌平	
0055	音曲分析・構造の分析				清田健一	
0056	ブラームス・彼と同時代の作曲家					
	言語学	1・2	選	4		
0061	言語学の基礎				初山洋介	} 英米科・イスパ ニヤ科は必修
0062 ・ 0063	「ことば」とは何か： その仕組と本質				西脇博	

【社 会 系 列】

科目 コース	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0071	経 済 学	1・2	選	4	森 茂 也	} 文学部・外国語 学部・法出部
0072					田 原 昭 四	
0073					末 重 正 行	
0074		1	必	4	中 矢 俊 博	経済学部
0075	経 済 学 入 門	1	必	4	森 茂 也	経済学部
0076		1	必	4	杉 山 俊 治	経営学部(1)
0077		1	必	4	中 矢 俊 博	情報管理学科用
0078		2	必	4	中 矢 俊 博	再履修者用
	社 会 学	1・2	選	4		
0081					阪 本 俊 生	
0083						
0084					鮎 川 潤	
0085					森 下 伸 也	
0086						
	文 化 人 類 学	1・2	選	4		
0091	文 化 の 見 方				加 藤 隆 浩	
0092	異文化不 ^レ 理解の人類学				杉 本 星 子	
0093	文化人類学の考え方				山 田 隆 治	
0094	文化の多様性を考える				倉 田 勇	
	法 学 (日本国憲法を含む)	1・2	選	4		
0101					善 家 幸 敏	} 文学部・外国語 学部・経済学部 経営学部
0102	実定法学と日本国憲法				高 橋 広 次	
0103					大 川 睦 夫	
0104					山 田 秀	
0105	事例に学ぶ法学・憲法				小 山 剛	
0106					佐 藤 延 子	

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0107	法学	1	必	4	高橋 広次 沢 登文治 栗本 雅和 岡田 泉 丸山 雅夫 上口 裕	法学部
	政治学	1・2	選	4		
0111	“政治” の見方・考え方				友岡 敏明	
0112 ・ 0113	現代社会における権力 と民主主義				菊池 理夫	
0114 ・ 0115	現実問題を通じて本質へ				吉田 達志	

【自然系列】

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0130	数 学 数とは何か、 数学とは何か	1・2	選	4	春 藤 修 二	文学部・外国語学 部・法学部
0131 └ 0138	微分積分学の基礎	1・2	選・必	4	新 倉 保 夫 宮 元 忠 敏 木 村 卓 二 太 田 稔 春 藤 修 二	経済学部・経営学 科必修(文学部・ 外国語学部・法学 部選択履修可)
0139	微 分 ・ 積 分	1	必	4	宮 元 忠 敬	情報管理学科
0140	微 分 ・ 積 分	1	必	4	小 野 貴 生	情報管理学科
0145	統 計 学 記述から推測へ	1・2	選	4	岩 橋 亮 輔	
0146	データの解析と推測				程 島 次 郎	
0151	物 理 学	1・2	選	4	柏 村 昌 平	
0155 ・ 0156	化 学 生活環境における 毒性について	1・2	選	4	山 本 正 康	
0159 0161	生 物 学 生 命 の 起 源	1・2	選	4	江 本 純	
0160 0162 0164	自然の中の蝶と 人の生物学				阿 江 茂	
0158 0165 ・ 0166	生物の多様性と進化	1・2	選	4	江 田 信 豊	前期分集中
0157 0163	生物学(実験を含む)				江 本 純	

科目 コース	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0168	心 理 学 行 動 の 科 学	1・2	選	4	宇 田 光	
0169 0171	発達を中心として				泉 ひ さ	
0170	行 動 科 学				石 田 裕 久	
0172	行 動 科 学				神 谷 俊 次	
0173	心の働きあれこれ				伊 藤 康 児	
0175 0177	科 学 概 論 情報のコスモロジー と技術文化	1・2	選	4	横 山 輝 雄	
0181 0182	科 学 史 科学における諸概念の 歴史	1・2	選	4	松 浦 俊 輔	
0185 0186	地 球 科 学 地球の過去・現在・ 未 来	1・2	選	4	大 畑 哲 夫 濱 健 夫	(前期) (後期)

【総合科目】

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0191	総合科目 I 〔生命と環境〕	1・2	選	4		
	人間の生と死 —自然科学から—				阿江 茂	
	社会主義建設の挫折 から「脱社会主義」 改革へ				家本 博一	
	—旧ソ連邦・東欧諸国 における国民の生活 習慣(行動様式)の変 化?について—					
	生命倫理と宗教				浜口 吉隆	
	環境と経済学				水谷 重秋	
	性と環境				泉 ひさ	
文学における生命 と環境	内藤 克彦					
0192	総合科目 I 〔国際関係論〕	1・2	選	4		
	現代国際政治の基本 構造と日本				岩島 久夫	
	東南アジア・中国 ・ソ連・日本				明石 陽至	
	旧ソ連邦の解体、独立 国家共同体(CIS)の 創設以降におけるロ シアの「脱社会主義」 改革—「八月クーデ ター」の失敗から 「エリツィン改革」 の軌道修正まで—				家本 博一	
	国際関係の政治経済学				渡邊 頼純	
	日米間におけるコミュ ニケーション				岡部 朗一	
	ラテンアメリカと 国際関係				松下 洋	

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0193	総合科目Ⅰ	1・2	選	4		
	〔男性と女性〕					
	文学・芸能・歌謡から みた男と女				安田文吉	
	男と女のコミュニケーション				阪本俊生	
	心理学からみた男性 と女性				泉ひさ	
	生物の性は“非常識” の世界				江本純	
	現代フランスの フェミニズム				濱名優美	
	教育における男性と 女性				酒井朗	
	女性(遊休生産能力) の有効活用と次世代の 生産				松繁寿和	
男女関係に必要な 法律知識	松倉耕作					
0196 0197 0198 0199 0210 0200 0201 0202 0203 0204 0212	総合科目Ⅱ	2	必	4		
	〔人間論〕					
	文学に描かれた人間像				細谷博	
	フランス文化とフランス人				倉田信子	
	神・世界(宇宙)・人間				大森正樹	
	自己について				長倉久子	
	大思想家の人間論と 学問論				立松弘孝	
	実存主義思想の系譜				赤松宏	
	「善」をめぐる問題				真田郷史	
	人間と自由				佐々木亘	
倫理と文化	田村均					

科目 コース	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0205	トランス・モダンの自 画像				森 際 康 友	
0206	経 済 学 と 人 間				中 矢 俊 博	
0207	人 間 と 自 然				松 井 良 和	
0208	人 間 と 環 境				阿 江 茂	
0215						
0209	生命（いのち）と論理 （ことば）				蛭 田 庸 代	
0216						
0211	〈われわれ〉について の人類学				佐 藤 信 行	
0213	人間にとっての経済活 動の意味				橋 本 昭 一	
0214	文化倫理学の試み				山 田 秀	
0217	音楽の心・ベートー ヴェンの思想と精神的 発展				杉 田 谷 道	
0218	〈存在と意味〉から 〈意味と存在〉へⅢ				藤 田 一 美	

【キリスト教概説】

科目 コース	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0221	キリスト教概説 (特)	1	必	4	浜 口 吉 隆	神学科
0222	キ リ ス ト 教 概 説	1	必	4	M. Calmano	
0223					枝 村 茂	
0224					E. Rucker	
0225					J. Schubert	
0226					W. Dunphy	
0227					枝 村 茂	
0228					五百旗頭 博治	
0229					石 脇 慶 總	
0230					W. Dunphy	
0231					青 山 玄	
0232					五百旗頭 博治	
0233					浜 口 吉 隆	
0234					狩 浦 正 義	
0235					野 村 純 一	
0236					久 松 英 二	
0237					青 山 玄	
0238					石 脇 慶 總	
0239					W. Dunphy	
0240					野 村 純 一	
0241					狩 浦 正 義	
0242					久 松 英 二	
0243					浜 口 吉 隆	
0244					M. Calmano	
0245					J. Schubert	
0246					五百旗頭 博治	

【人文系列】

講義概要

- 0001 哲学(特) (必・2年次・4単位・通年) 神学科用 蒔苗暢夫
論理学・認識論

形而上学、神学等の研究の準備段階として、形式論理学(演繹推理、誤謬論まで)を論じ、加えて、主としてトマス・アクィナスに於ける真理の問題、認識の構造等を考察する。

- 0002 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 戸田山和久
「心の哲学」の諸問題

「心」って何だろう。脳ミソが心なのだろうか。機械が心を持つようなことがありうるのだろうか。そもそも自分をとりまく人々が、自分と同じような心を持っているってどうしてわかるのだろうか。それともそう思い込んでいるだけなのか。……等々の誰もが一度は考えたことのある疑問に、現代のテツガクシャたちがどのように悩み、取り組んできたのかを解説します。ただし、手っとり早い解答を聞いて早いと安心して人々には向きません。一緒に悩みましょう。

- 0003 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 赤松宏
哲学概論と現代哲学

前期は先ず西洋哲学の源流を探り、その後東洋の哲学、特に仏教の哲学を概観する。西洋、東洋の哲学を概観した後、再び哲学とは何かという問題に戻り、随時必要に応じて哲学史にも言及しつつ、概論的に講義する。後期は現代の哲学に大きな影響を及ぼした哲学者の思想を可能なかぎり詳論する。

- 0004 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 服部裕幸
科学と人間

我々にとって比較的身近かな問題を考えて直すことから始めて、科学的知識と呼ばれるものの性格やその限界、人間の行為や自由の問題などについて考えてみたい。いわゆる教科書は使用しませんが、講義の内容をよりよく理解するための助けとして、あるいは自分で考えるための材料として次の書物を挙げておきます。

前期用：村上陽一郎、『近代科学を超えて』、講談社学術文庫。H. バターフィールド、『近代科学の誕生』(上・下)、講談社学術文庫。E. H. カー、『歴史とは何か』、岩波新書。佐和隆光、『経済学とは何だろうか』、岩波新書。

後期用：土屋 俊、『心の科学は可能か』、東大出版会、フリュー&ヴィージー、
『行為と必然性』、産業図書。坂本百大、『心と身体』、岩波書店。

0005 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 大 鹿 一 正
哲学入門

存在、真理、認識、等々、哲学の基礎的問題のいくつかについて、バートランド・
ラッセルの著作をテキストとして考察する。英文テキストと日本語テキストを併用
する。

テキスト：B. Russell、*The Problems of Philosophy*

日本語テキスト：『哲学入門』、B. ラッセル著、中村秀吉訳、現代教養文庫。

0006 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 山 田 弘 明
哲学の諸問題

〔前期〕明治の日本思想史を手掛かりとして、哲学という学問がどのようなものと
理解されてきたかを概観したうえで、特に西田幾多郎の哲学を取り上げる。

〔後期〕人の生死という問題を西洋人はどう考えてきたかを、幾人かの主要な思想
家において見る。

0007 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 谷 口 佳津宏
哲学概論

真、善、美の三つの問題を中心に、西洋哲学の基本を解説する。

0008 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 牛 島 謙
20世紀の知識論

- | | |
|---------------|----------------|
| 0 序 論 | 3 新科学哲学の諸相 |
| 01 近代の認識論概観 | 31 ハンソンと理論負荷性 |
| 02 20世紀の知識論概観 | 32 ポラニーと暗黙知 |
| 1 論理実証主義 | 33 クーンとパラダイム論 |
| 11 ラッセルの論理学 | 4 現象学と生活世界論 |
| 12 論理的原子論 | 41 志向性と明証 |
| 13 意味の検証理論 | 42 ガリレオと自然の数学化 |
| 2 ポパーと批判的合理主義 | 43 生活世界 |
| 21 反証可能性 | 5 結 論 |
| 22 帰納法批判 | |
| 23 ラカトシュとMSRP | |

なお講義用テキスト『哲学93』(100ページ)を用意するので各自購入するこ
と。

- 0009 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 加藤 泰 史
ヨーロッパ近代哲学の論理構造とその再検討
マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』をひとつの手掛りとしながら、ヨーロッパ近代が提起した哲学的諸問題を考察し、それらが現代においてどのような意義をもつのか、を検討する。
テキスト：山下太郎『西洋哲学思想史』北樹出版。
- 0010 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 大 滝 朝 春
哲学概論
授業方針
哲学の全体像と意味を理解することを主旨に、教科書に沿って講義を行なう。
教科書
西田幾多郎著『哲学概論』岩波書店
- 0011 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 本 多 英 太 郎
0012 哲学の世界
下記の三つのテーマにそって、それぞれ古典的名著を参照しながら、哲学の諸問題について考えてみる。
(1) 哲学的な知について
参考書：プラトン『国家(上、下)』(岩波文庫)
(2) 科学的世界観について
参考書：デカルト『方法序説』(中公文庫)、ベーコン『ノヴム・オルガヌム』(岩波文庫)
(3) 合理主義の政治哲学
参考書：マキアヴェッリ『君主論』(岩波文庫)、スピノザ『国家論』(岩波文庫)
- 0013 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 小 池 英 光
認識と道徳の諸問題
〈前期〉知識と存在：なぜ哲学なのか—疑うことの重要性—知識の条件—知識の種類—経験と知性—外界の知識—言語と存在
〈後期〉行為と価値：倫理の現代的状況—良心と義務—存在と価値—自由と責任—行為と動機—個人と社会—権利は在るか—悪の根源—黙約と問ひかけ
(注) テキストは使わない。必要に応じてプリントを配布する。

- 0021 文 学 (選・1・2年次4単位・通年) 大谷 俊 太
和歌を読む
中古・中世の和歌を読みつつ、和歌史の流れを辿る。
テキスト：『和歌文学選 ― 歌人とその作品 ―』（和泉書院）
- 0022 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 美濃部 重 克
『平家物語』講読
『平家物語』を読む。いくつかの章段を取り上げて、出来るかぎり、作品の全体像をつかめるようなかたちで講読する。
教科書：講談社文庫『平家物語』上・下
- 0023 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 安田 文 吉
浄瑠璃・歌舞伎研究
歌舞伎・浄瑠璃作品を精読して、近世の芸能文化をも合わせて考える。
テキスト：未定
- 0024 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 中 裕 史
中国現代文芸の諸相
封建王朝の桎梏を漸く脱し西洋の新しい潮流に洗われた中華民国時期。「土」（中国的なもの）と「洋」（西洋的なもの）とがせめぎあうこの時期には存在した、多種多彩な文芸の様相を、複数の代表的な文芸家とその活動に着目することにより、捉えてみたい。なお、受講者には、毎回小レポートの形式で、自己の考えや意見を整理して発表するよう求める。
- 0025 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 山本 和 義
蘇軾の文学
中国宋代の士大夫の一つの典型であり、すぐれた文学者として中国文学史の近世を拓いた蘇軾（そ・しょく。東坡居士）の詩と賦（「赤壁の賦」）をつとめて精緻に読むことを軸に、文学史上の位置づけ（その中世から近世への展開をめぐる諸問題）について考究する。受講者はともに思索しようとする姿で誠実に講義に臨んでもらいたい。それを導く手だての一つとしてレポートの提出を課する予定。
テキスト：小川環樹・山本和義選訳『蘇東坡詩選』（岩波文庫）を用いるほか、適宜にプリントを用いる。
- 0026 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 細 谷 博
小説を読む
近代文学の作品のいくつかを丁寧に読み直し、もう一度自由に考えてみることを

目標とする。小説を読むことの楽しさと、又それについてあれこれと考えることの面白さについて語りたい。夏目漱石等の作品を読む予定。

0027 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 進藤 義治

日本語の発音の歴史と仮名遣い

歴史的仮名遣いと古代日本語の発音の関係の説明にはじまり、上代から近代までの発音の変化を説き現代仮名遣いの性質を検討する。

テキストには講義資料のプリントを用意する。

参考書はプリントに記載する。

0041
0042 歴 史 (選・1・2年次・4単位・通年) 日本史 新井 喜久夫
0043

八世紀の日本

わが国の古代国家は8世紀はじめ律令国家として完成する。この体制のもとで有力化するのが新興の藤原氏であり、8世紀の政治史は藤原氏と大伴をはじめとする旧大豪族の抗争の歴史であった。この過程を光明皇后の登場、孝謙天皇の即位等の現象を通して見てみることにする。

0044 歴 史 (選・1・2年次・4単位・通年) 東洋史 重松 和男

先史時代以来の東アジアの歴史を中国を中心に、その周辺にもふれながら論述する。

0045
0047 歴 史 (選・1・2年次・4単位・通年) 西洋史 R. Szípl
0050

近代ヨーロッパ史

近代ヨーロッパ社会は様々な改革や革命の結果として成立した。講義はルネサンス時代から現代までヨーロッパの社会、文化、思想、政治、経済を形成してきた「革命」的な動きに焦点を合わせ、近代ヨーロッパ社会の成立と展開を考察する。主なテーマとしては封建社会の崩壊、ルネサンス時代の新しい世界観、大航海時代の海外進出、宗教改革、「商業革命」と初期資本主義の発展、絶対主義の国家発展、「科学革命」、啓蒙思想、フランス革命とナポレオン、「産業革命」、19世紀の文化的・思想的展開、自由主義、民主主義、民族主義の発展、帝国主義時代、第一次世界大戦、ロシア革命、全体主義とファシズムの発展、第2次世界大戦などを取り上げたい。

テキスト：大下尚一（他）『西洋の歴史 [近代編]』ミネルヴァ書房

0046
0048 歴 史 (選・1・2年次・4単位・通年) 西洋史 岡 地 稔
0049

ヨーロッパ中世史

「名前」・「封建制」などのテーマを取り上げて、中世ヨーロッパの政治・社会の諸相を考察していきたい。

テーマⅠ 「名前」の周辺

ヨーロッパ中世において多くの君侯があだ名で呼ばれるのは何故か。10・11世紀にドイツでコンラート・ハインリヒ・オットーという名の王ばかり続くのは何故か。家門とは何か。「名前」に関わるこうした問題を通して、中世社会の一側面を提示したい。

テーマⅡ 「王の旅」と「封建制」

中世ヨーロッパの君主は豪華な城にいて、そこから国を統治したのか。否である。彼らは絶えず旅の途上にあった。その「王の旅」から始めて、中世というと常に想起される「封建制」の仕組み・機能などを取り上げ、中世における国家・統治・支配の問題を考察していく。

テキスト配布の予定。

0051 美 術 (選・1・2年次4単位・通年) 東洋の美術 池 田 洋 子
日本美術の流れ

日本の美術の変遷を、その美術の行なわれた社会の階層や、その美術の表現の媒体となった素材の特徴などによる分類で考えていきたい。それらの特徴に従って以下のように講義する。

1. 先史 原始の美術、2. 飛鳥の美術、3. 奈良の仏教美術、4. 平安貴族の美術、5. 院政期の美術、6. 鎌倉新仏教の美術、7. 室町將軍の美術、8. 禅林の美術、9. 桃山の美術、10. 江戸將軍の美術、11. 京都町衆の美術、12. 江戸町人の“イキ”の美術、13. 江戸の武士達の美術、14. 京都の“粋”の美術、15. 幕末の美術

0052 美 術 (選・1・2年次・4単位・通年) 西洋の美術
0053

江 本 菜穂子

西洋の美術

この講義では、前半概説として古代・中世・ルネッサンスと西洋の芸術が如何に展開していったかを把握できるように、又、後半から近代から始まるまさに新しい芸術運動を、特に絵画を中心として、その原因を探りながら、限界や可能性を含めて進めていくつもりである。具体的な作品を毎回スライドを使用して確かめてもらう。

0054 音 楽 (選・1・2年次・4単位・通年) 水 谷 昌 平

音楽の歴史的流れに沿ってその時代的様式と音楽美を認識

音楽をよく理解するためには、なによりもまず音楽史の知識が必要である。現在の音楽がどのように発達してきたのか、いったい音楽はどうして発生し、過去の音楽がどのようなものだったかということを知り、音楽の意義と価値についての認識と健全で妥当な音楽観をもつよう追求していきたい。

門馬直美「西洋音楽史概論」(春秋社)

0055 音 楽 (選・1・2年次・4単位・通年) (水曜1・2)

清 田 健 一

楽曲分析・構造の分析

前期に弦楽四重奏曲、後期に交響曲の各一つの楽章をくわしく分析し、音楽の形について理解を深める。

テキストとしてスコアを読むため、楽曲の知識があることがのぞましい。

0056 音 楽 (選・1・2年次・4単位・通年) (水曜3・4)

清 田 健 一

ブラームス・彼と同時代の作曲家

ブラームスを中心にすえて同時代の他の作曲家の作品と聴きくらべてゆくことにより、音楽のもついろいろな要素、その時代が音楽にあたえた影響等について考える。

0061 言 語 学 (選・1・2年次・4単位・通年)

羽 山 洋 介

言語学の基礎

言語学の基本的な考え方・研究方法を体系的に身につけることを狙いとする。特に以下の項目に関して、主に日本語及び英語を素材として具体的に検討す。1. 言語学の基本的な考え方、2. 人間の言語の一般的特徴、3. 世界の言語と日本語、4. 言語と社会、5. 言語学の諸分野(特に、文法論、意味論)。

受講にあたって言語学に関する知識はまったく必要としないが、日本語・外国語を問わず「言葉」に対して何らかの興味・関心を持っていることを前提とする。

参考文献は随時紹介する。

評価は試験及びレポート(各2回)による。

0062
0063 言 語 学 (選・1・2年次・4単位・通年)

西 脇 博

「ことば」とは何か：その仕組と本質

個々の言語の専門的な研究ではなく、言語一般についての多方面からする考察で

ある。日常生活をはじめ、学問、政治、経済など文化のあらゆる側面を支えている言語とは、どのような性質を持ち、どのような仕組みを持っているか。また個人の精神生活や社会生活のなかで言語はどのような機能を果たすか。世界には多くの異なった言語や方言があり、それらはまた時代とともに変化するが、各言語はそれぞれの社会の文化をどのように反映し、また伝承して行くか。外国語学習の困難さと意義はどこにあるか、などの問題を考察する。

●プリント使用、参考文献随時指定

本講義では、本邦の言語文化の歴史を概観し、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察し、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。また、言語文化の形成と変遷のメカニズムを考察する。

【社 会 系 列】

講義概要

0071 経済学（選・1・2年次・4単位・通年）文・外・法学部用

森 茂 也

経済学を最初に習う人のために、経済学の取り扱う範囲・方法から始め、とくに経済学がもつ前提・限界を指摘しながら、体系として経済学の把握をねらう。

単なる中級・上級の経済学の準備というより、基礎的理解を重視し、初学的次元ながら、経済学の一応の完結をめざす。近代を基盤に成立した経済学が時代の変化とともに示す新しい経済学への志向を、ともに考えつつ、諸科学の基礎的訓練になるよう講じたい。

テキスト：森茂也『新講経済学』（改訂版）同文館。

0072 経済学（選・1・2年次・4単位・通年）文・外・法学部用

田 原 昭 四

経済学の基礎的な考え方を、日本経済を中心とした現実の経済現象に即して論述する。対象範囲は国民所得、金融、財政、産業、経済変動、国際経済。

テキスト：篠原三代平『経済学入門』（日本経済新聞社、1992）

0073 経済学（選・1・2年次・4単位・通年）文・外・法学部用

末 重 正 行

経済学の基礎的な考え方を講述する。現実の経済問題についてもできるだけ説明したい。

0074 経済学（必・1年次・4単位・通年）経済学部用 中 矢 俊 博

下記のテキストを使用して、経済学の基本的な考え方を講じる。経済学の考え方、経済の歴史、経済学の歴史、ミクロ理論、マクロ理論を中心に進めていきたい。時に、現実の経済社会に関する知識を習得するために、プリントを配布したり、ビデオを見たりしたいと考えている。

テキスト：森茂也著『新講経済学（改訂版）』（同文館）

0075 経済学（必・1年次・4単位・通年）経済学部用 森 茂 也

経済学を最初に習う人のために、経済学の性格・研究方法からはじめ、広く経済学の基礎を講ずる。とくに関連性を欠く百科辞典的知識の獲得ではなく、体系としての経済学を把握することに重点をおき、単なる専門課程における経済学の基礎と

ということだけでなく、初学的次元ながら、経済学の一応の完結を目指す。

経済学研究の態度を重視し、経済学のもつ学問的視角とその意味を一貫して強調することにより、また経済学のもつ限界も指摘して、他の分野を含めて、諸科学の基礎的訓練になるよう配慮したい。

テキスト：森 茂也『新講経済学』（改訂版）同文館

0076 経済学（必・1年次・4単位・通年）経営学部用 杉山 俊治

テキスト：森 茂也著『新講経済学』（改訂版）同文館。

経済生活の意味、経済社会の発展、経済思想の展開について概観したあと、ほぼ上記のテキストに沿ってマイクロ・マクロの経済理論を適宜現下の経済問題の若干を取りあげながら講述する。

0077 経済学（必・1年次・4単位・通年）情報管理学科用

0078 経済学（必・2年次・4単位・通年）再履修者用 中 矢 俊 博

現代社会を見る目

下記のテキストを使用して、経済学の基本的な考え方を講じる。また現実の経済社会についての知識を習得するために、時々プリントを配布したり、ビデオを見たりしたいと考えている。

テキスト：森 茂也著『新講経済学（改訂版）』（同文館）

0081

0082 社会学（選・1・2年次・4単位・通年） 阪本 俊生

0083

人間は社会的な生き物であるという決まり文句がある。しかし社会とは一体何なのかと考えようとしても、とてつもなく漠然とした答えしか見つからないのが普通だ。そこで、この問いに対してユニークなものの見方で答えるのが社会学だといってよい。優れた社会学者たちは、社会はどのようにすれば見えてくるのかを私たちに教えてくれる。そのいくつかを紹介してゆきたい。それらは私たち自身を見るための視野も広げてくれるだろう。（テキスト『ライフロング・ソシオロジー』東海大学出版会）

0084 社会学（選・1・2年次・4単位・通年） 鮎川 潤

社会学の基本的なものの見方と考え方を、社会学の基礎的な概念——例えば、準拠集団、予言の自己成就、アノミーなど——を通じて学習したい。その上で、現代社会の社会問題や少年非行をはじめとするいわゆる「社会病理」現象について分析、考察したい。

0085 社会学 (選・1・2年次・4単位・通年)
0086

森下伸也

われわれが何気なく暮らしている日常生活のうちには、制度という目に見えない仕掛けがいたるところに張りめぐらしてある。社会学とは、この目に見えない仕掛けを目に見えるものにしていく作業である。この作業には一方で、今まで自明なものとしてよりかかっていたものが崩壊して生じる「めまい」や「ゆらぎ」の感覚がともなっているが、また地方では、みずから制度という拘束衣から解き放つ自由の感覚がともなっている。ジャズとおなじく、大学の勉強も「スイングしなけりゃ意味がない」。知的スイング感の昂奮と醍醐味を思う存分味わいながら、たんなる知識ではなく、「よく生きる」ための知恵としての社会学的想像力を身につけてもらうこと、これが本講義のめざすものである。

テキストは、森下・君塚・宮本『パラドックスの社会学』（新曜社）。

0091 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年)

加藤隆浩

文化の見方

文化人類学は異なる民族の社会や文化比較から、自己の文化をその中で、相対化し、把握することを目的の1つとしている。言い換えれば、これは、諸民族の生活様式の差異と斉一性を明らかにすることに外ならない。本講義では、文化人類学のさまざまな手法にもとづき諸民族の説話・伝承をたいていと、生業活動・社会関係・儀礼・宗教などをよこいととして、社会・文化を相対比するとはどういうことなのかを概観する。

0092 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年)

杉本星子

異文化不理解の人類学

世界各地に頻発する民族紛争を前に、われわれは人類愛や異文化理解を謳うことの空しさを日々痛感せざるを得ない。本講義では何故人は異文化さらには他者を理解できないのか、あるいはするわけにいかないのか、という問題を中心に据え、主にインド社会の事例を通して考察する。

0093 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年)

山田隆治

文化人類学の考え方

人類は現在までにいろいろな生活の仕方や考え方を生み出してきた。これらの違ったやり方が人間の生活一般にとってどういう意味をもち、また我々のやり方に対して何を示唆するかを具体的な事例を通して考察し、異民族研究としての文化人類学の考え方を説明する。

- 0094 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年) 倉田 勇
文化の多様性を考える

私たちの日常生活においてはこの生活を当然なものとしてその生活を肯定して過している。またそれらを変えていくことを当然と考えている。自分たちの文化を意識するには、異なる生活様式を学ぶことが大切である。人生儀礼(出生、成人、結婚、死など)、時間や空間などを具体例から説明する。

- 0101 法学(日本国憲法を含む)(選・1・2年次・4単位・通年)

文・外・経済・経営学部用 善家幸敏

法とは何か、法学とはどのような学問であるかということの説明を主眼とする。従って、これから法及び法学を学ばんとする者のために、勉学上必要な予備的基礎知識を与えることに役立つと共に、民主国家の主権的国民として、当然持たなければならない法学的教養を広く身につけるために、役立ちうることを意図としている。

テキスト：善家幸敏『法学概論』(第二版)成文堂

- 0102 法学(日本国憲法を含む)(選・1・2年次・4単位・通年)

文・外・経済・経営学部用 高橋広次

実定法学と日本国憲法

これから初めて法を学ぼうとする者への入門として、「法の概念」「法の体系」を講述したあと、「法の理念」「国家の本質」の問題を取り扱い、後期には日本国憲法を基本的人権及び統治機構の両面から説明する。なお、講義に臨むにあたって小型の「六法」を携帯されたい。

テキストは指定しないが、参考書として以下のものを勧める。

萩野芳夫編『法学』(法律文化社)を勧める。

芦部信喜『憲法』(国家と法I)放送大学教育振興会

- 0103 法学(日本国憲法を含む)(選・1・2年次・4単位・通年)

文・外・経済・経営学部用 大川陸夫

判例や現実に生起する法律問題を素材にして、現代日本の法制度とその適用における諸問題を、民主主義の発展と基本的人権の保障という観点から考察する。

教材：憲法教育研究会編『検証・日本国憲法』(法律文化社)

- 0104 法学(日本国憲法を含む)(選・1・2年次・4単位・通年)

文・外・経済・経営学部用 山田秀

法・国家・憲法

先ず、法と国家の存在論、本質論、分類論を踏まえた上で、次に日本国憲法を、歴史的観点と体系的観点から講述する。更に、時間の余裕があれば、伝統的自然法

論の立場から権利及び基本的人権の存在論、本質論、分類論を論じる予定。

使用教科書は開講時に指定する。

0105 法 学（日本国憲法を含む）（選・1・2年次・4単位・通年）

小 山 剛

事例に学ぶ法学・憲法

法と道徳、法の効力と淵源、法の分類……法学の教科書は、このような題目ではじまるものが多い。しかし、「法とはなにか」という問題に一般的・抽象的に取り組み、かつこれを理解するのは、至難の技である。

このため、講義では、まず前期に具体的な事例をできるだけ多く取り上げ、事例を通じて、法律学とはいかなる学問であるのか、法の解釈、法の制定とはいかなる作業であるのか、そこには、いかなる限界があるのか、を見てゆくことにしたい。

後期には、憲法に重点をおいて、日本の統治の仕組み、人権保障の理念とそのための手段について解説をする。この場合にも、具体的な事例を通じて理解を深めてゆく。

0106 法 学（日本国憲法を含む）（選・1・2年次・4単位・通年）

佐 藤 延 子

前期は憲法の内容のうち基本原理と基本的人権を中心に講義し、後期は日常生活に必要ないくつかの法律の要点をとりあげる。

ローンで買物をしたが支払ができなくなった場合、訪問販売で無理やり購入の契約をさせられあとで後悔するようなとき、あるいは親族の扶養や遺産の相続をめぐるトラブル、夫婦の不仲による離婚問題など、誰にでもこのような法律問題は起こる可能性がある。基本的な法律の知識をもっていれば、より一層の悲劇や不幸をさけることができるのである。

賢い生活者となるためにも法律に無知であることをさげなければならない。

0107 法 学（必・1年次・4単位・通年）法学部用

高 橋 広 次 沢 登 文 治 栗 本 雅 和

岡 田 泉 丸 山 雅 夫 上 口 裕

日本国憲法をはじめとする諸法の基礎を、それぞれの分野の担当者が、リレー形式で講義していく。

本講を法学部専門科目である「私法概説」とあわせ履修することにより、法学のアウトラインを知ることができる。

なお、統一テキストは、使用しない。

0111 政治学 (選・1・2年次・4単位・通年) 友岡敏明

“政治”の見方・考え方

政治学の基礎的事項を学習する。殊に、“政治”とはえてして汚れたものとして、何かウサン臭い疑惑の眼で見られがちであるが、しかし人類の経験は“政治”を人間存在の最深部の営為であるとして捉えてきた。この人間存在と切っても切れない“政治”というものを、“倫理”や“法”や“力”と対置したり比較したりすることによって、理解してみようと思う。

テキスト：未定

0112 政治学 (選・1・2年次・4単位・通年) 菊池理夫
0113

現代社会にかける権力と民主主義

政治とは普通の生活とは関わりのない、何か遠い世界の出来事とされていないでしょうか。しかし、わたしたちの生活は政治との関係を抜きにして成立するのでしょうか。

とりわけ、民主政治とは、わたしたち一人ひとりが間接的、直接的に作り出していくものであるとともに、その結果から大きな影響を受けるものです。

前期では、特に政治権力について、それが民主政治とどのように関係するかを中心に説明し、後期では、現在の民主制度が実際にどのように動いているかを政党や選挙などを中心にして具体的に論じていきたいと思います。

0114 政治学 (選・1・2年次・4単位・通年) 吉田達志
0115

現実問題を通じて本質へ

前期は、現在の国際政治状況を理解させる目的のために、第二次世界大戦後の国際政治の流れについて考察する。

後期は、現代日本社会の当面する政治的諸問題、——外交と世論、憲法、天皇、政治文化、民主主義等——について、哲学的、歴史学的、文化論的観点から多角的に論ずる。

【自然系列】

講義概要

0130 数 学 A (選・1・2年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

春 藤 修 二

数とは何か、数学とは何か

諸君は高校までに実に多くの数学的知識を学んでいる。しかしたとえば有理数とはどのような数であるか適確に答えられない人が多い(考えてみて下さい)。よく知っている対象(数・図形等)を用いて、数について又数学について考えることを講義の目標としたい。従って数学の好き嫌い、予備知識などは問わないが、考えることの嫌いな人は敬遠したい。

0131 } 数 学 B (選・1年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

0138 (必・1年次・4単位・通年) 経済学部・経営学科用

新 倉 保 夫

宮 元 忠 敏

木 村 卓 二

太 田 稔

春 藤 修 二

微分積分学の基礎

微分積分学はその思想と内容の豊富さによって教養の数学にふさわしいと思う。高校数学に採り入れられているのもそのせいであるが、それが数学へのつまづきの原因にもなっているようである。本講義には必修・選択が混在していることを考慮して、その考え方を中心にしつつ、思考の訓練という面も強調していきたい。物事を筋道立てて考えることへの指向は必要である。テキストについては初回の講義において紹介する。

主な内容は次の通り。

(1)極限 (2)導関数 (3)1変数関数の極大・極小 (4) Taylor の定理 (5)偏導関数 (6)2変数関数の極大・極小 (7)微分積分学の基本定理

0139 数 学 C (必・1年次・4単位・通年) 情報管理学科用

宮 元 忠 敏

微分・積分

微分・積分・偏微分・重積分の講義をします。

0140 数 学 C (必・1年次・4単位・通年) 情報管理学科用

小 野 貴 生

微分・積分

微分・積分・偏微分・重積分の講義をします。

0145 統 計 学 (選・1・2年次・4単位・通年)

岩 橋 亮 輔

記述から推測へ

国家の政治・経済についてのデータの収集・整理・要約から始った統計学は現代の情報化社会に生活していく上で欠かすことができない。適切な方法で収集されたデータを確固たる理論に基づいて、必要とする知識・情報を獲得し、これらを次の一歩を進めるベースにすることは、人間のあらゆる分野で積極的に行われている。

統計学はデータの要約方法を主とする記述統計学とデータが得られた背後にある、いわゆる母集団についての議論である推測統計学とに分かれる。記述統計学はこれまで詳述されることが少なかったが、コンピュータの普及によって、その重要性を増している。この講義では身近なデータに基づいて、記述統計学の基本的な概念と手法を解説し、推測統計学に話を進めて、後続の講義「数理統計学」にバトンタッチする。

平方根が計算できる電卓を必携のこと。

0146 統 計 学 (選・1・2年次・4単位・通年)

程 島 次 郎

データの解析と推測

統計学は現在ほとんどあらゆる分野で利用・応用されている。統計学の目的は、実際のデータを解析して私たちの直感が正しいかどうか確かめたり、新しい知識を帰納したりすることにある。

講義では現代統計学の基本的内容を解説し、統計的なもの見方が身につくようにすることを目的とする。数学の予備知識は特に要求しないが基礎から根気よくやるのが大切である。

0151 物 理 学 (選・1・2年次・4単位・通年)

柏 村 昌 平

高等学校の理科で勉強したテーマの中から、次のような話題を取上げて、物理学の考え方を解説する。1.力と運動、2.仕事とエネルギー、3.温度と熱、4.電気と光、5.原子と放射能。

教科書として小暮陽三著『身近な教養物理』(森北出版)を用いるが、プリントも用いる。

0155 化 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 山 本 正 康
0156

生活環境における毒性について

毒物とか毒性とは何かを中心テーマとして、日常生活に関連した化学物質の毒性について講述する。

我々の生活環境の中には様々な毒物が存在する。まず、一般的な急性毒である動物(フグ、サソリ等)や植物(キノコ、トリカブト)等の天然毒について解説する。さらに慢性毒や発がん性、発生毒等広い意味の毒性についても考えてみる。ついで医薬品との比較および麻薬、覚醒剤やシンナー等依存性薬物の医薬品の毒性や問題点も講述する。その他、生活環境の大気や水質汚染物質の問題、酸性雨やフロン、毒ガス兵器等公害関連を含めた環境毒性についても講究する。

0157 生 物 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 定員30人 江 本 純
0163

生物学(実験を含む)

前期には、細胞に焦点をあて、生命がもつ基本的な特性を勉強する。実験はもっぱら光学顕微鏡を使い、動植物の細胞形態、組織、細胞分裂、精子、原生動物などを観察しながら、細胞が生命の基本単位あることを理解していく。

また後期は、動物の体の構造を主に勉強していくが、あわせて実験に電子顕微鏡を使って、ミクロの世界を案内する。

実験を含んだ数少ない講義です。理科系の授業スタイルに触れてみたい人や、生物を知りたいと思っている人は是非とも登録して下さい。

0160 生 物 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 阿 江 茂
0162
0164

自然の中の蝶と人の生物学

環境の悪化から私達の身のまわりの蝶などが姿を消しつつあるとよく言われる。しかし人間の自然とのつながりの歴史は、常に人間にとって有利な生物のみをふやし、他を亡しつづけているのではなく、もっと複雑である。アゲハチョウの仲間の自然の中での生活をみながら、生物について考えなおし、その一種であるヒトが豊かな未来をきづいてゆくための生物学を考えたいと思う。このような事柄の基礎的な理解の上にならば、分子生物学、遺伝子工学も人類の希望となり、環境問題をも克服できるという面よりこのような分野にもふれる。

0159 生物学 (選・1・2年次・4単位・通年) 江本 純
0161

生命の起源

生命はいつ、どのようにして誕生したのだろうか。地球が誕生してからすでに46億年が経過した。私たちが多少詳しく知っている地球の過去は、実はたかだか6億年にすぎない。なぜなら地球の過去の姿は、多くの場合生物化石によって解明されてきたからで、6億年よりも昔の化石はほとんど発見されていなかったからである。

近年、分子生物学の発達と共に数十億年前の微化石の研究が進み、今私たちの前に、有機物質の生成に続く生命誕生のシナリオが解き明かされようとしている。

講義ではまた、地球環境の生物的な変遷にもふれる。

0158 生物学 (選・1・2年次・4単位・前期分集中) 江田 信豊
0166

生物の多様性と進化

地球上には様々な生物が生息しておりその遺伝様式、生活様式は生物によって多岐に分化している。また生物は生存し繁殖するために、その種をとりまく環境や他の生物と相互に作用しあっている。講義では生物をとりまく地球の環境(古生物の古環境を含む)を解説し、生物がどのような過程をへて現生の生物へと進化してきたかを、脊椎動物、特に恐竜絶滅の謎や人類進化にスポットをあてて紹介していく。

0168 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 宇田 光
行動の科学

本講義では、心理学の基礎的な考え方や研究方法を学ぶ。疑似的な実験など様々な課題にも実際に取り組む予定である。主な内容は次の通りである。

1. 心理学とは何か、
2. 心理学の研究手法、
3. 環境の知覚、
4. 学習と記憶、
5. 欲求の心理、
6. 発達、
7. 性格とその検査、
8. 対人関係、
9. 集団の心理、
10. 心理療法、
11. まとめ、

教科書：①若松利昭他(編)『テキスト心理学』(福村出版)②宮沢秀次他(編)『自分でできる心理学』(ナカニシヤ出版)

0169 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 泉 ひさ
0171

発達を中心として

心理学の基礎的内容としての感覚・知覚・記憶・知能・思考・想像・創造力・才能・欲求・感情・人格・性格、および実生活の応用的内容として大学生活への適応、

職業選択、性と性差、恋愛と結婚について考察をすすめる。

テキスト：泉 ひさ 『心理学入門：発達を中心として』（ナカニシヤ出版）

0170 心理学（選・1・2年次・4単位・通年） 石田裕久
行動科学

人間行動の科学的解明をめざす心理学についての一般的知識を得るために、さまざまな問題領域におけるトピックを参照しながら、その基礎となっている理論・考え方を概説する。

参考書：村田孝次 『教養の心理学』（培風館）

若松ほか編 『テキスト心理学』（福村出版）

0172 心理学（選・1・2年次・4単位・通年） 神谷俊次
行動科学

現代の心理学が対象としている領域（発達、知覚、記憶、思考、言語、学習、知能、人格など）について基本的な知識とともに最近の成果や動向を概説する。

テキスト：若松ほか編『テキスト心理学』（福村出版）

0173 心理学（選・1・2年次・4単位・通年） 伊藤康児
心の働きあれこれ

心理学は楽しい学問です。わたしを知り、あなたを知り、たがいに助け合ってくらすこの世界のなりたちを見とおす学問だからです。大いに楽しみながら学びましょう。テキストは講義の中で指示します。

0175
0176 科学概論（選・1・2年次・4単位・通年） 横山輝雄
0177

情報のコスモロジーと技術文化

情報の自己組織化という観点から、生命科学・宇宙論・コンピューター理論、身体哲学、メディアや都市の問題などにみられる技術文化の諸問題について検討する。情報、生命、社会などについての理論と言語やテキストについての理論が密接に関連している現在の文化状況は、これまでの自然科学と人文・社会科学という領域区分を相対化しつつある。

講義では、上記諸領域の事例をとりあげながら、21世紀に向けた知的潮流がいかなるものであるかを明らかにしたい。

0181 科学史 (選・1・2年次・4単位・通年)

松浦俊輔

科学における諸概念の歴史

時間・空間・数といった、科学では前提となるような概念についての歴史を、様々な方向からたどってみる。一見あたりまえに用いられているこれらの概念も、もとをたどってみると、さほど必然的な根拠があるわけでもなかったりする。ところが、ありうる様々な形の中からしかじかの考え方を「選ぶ」ことが重要な契機だったということもある。そういう様子を見ることにより、科学や、我々の日常の世界観の中の科学に連動する部分の根拠や、逆にそのあやしいところを見渡してみたい。特にまとまったテキストは用いないが、参考文献は授業中に随時指示してゆく。

0185 地球科学 (選・1・2年次・4単位・通年)

前期 大畑哲夫

0186

後期 濱健夫

地球の過去・現在・未来

地球は長い歴史の中でたえず変動を繰り返してきている。我々の目に写るその姿は現在のものであり、一万年前あるいはそれ以前とは様相を異にする。またその変化過程は複雑で、一万年後どのように変化するかはまだまだ解明できていない。

本講義は、地球の歴史的变化を、その中に内在する物理過程・化学過程を通して理解してもらうことを目的とする。主として環境としての大気圏、海洋や湖などの水圏、そして氷河や南極に代表される雪水圏を中心に地球の姿を紹介し、それから導かれる地球の歴史を解明していく予定である。

【総 合 科 目】

講義概要

0191 総合科目Ⅰ〔生命と環境〕（選・1・2年次・4単位・通年）

授 業 予 定 表 （毎週金曜日7・8時限）

月・日	担 当 者	題 目
4月9日	阿 江 茂	人 間 の 生 と 死 —自然科学から—
16日		
23日		
5月7日		
14日	家 本 博 一	社会主義建設の挫折から「脱社会主義」改革へ —旧ソ連邦・東欧諸国における国民の生活 習慣（行動様式）の変化？について—
21日		
28日		
6月4日		
11日	浜 口 吉 隆	生 命 倫 理 と 宗 教
18日		
25日		
7月2日		
10月1日	水 谷 重 秋	環 境 と 経 済 学
8日		
15日		
22日		
29日	泉 ひ さ	性 と 環 境
11月5日		
12日		
19日		
26日	内 藤 克 彦	文学における生命と環境
12月3日		
10日		
17日		
1月14日		質 疑 応 答

人間の生と死——自然科学から——

阿 江 茂

少なくとも人間の肉体の生と死は自然科学に基礎をおく問題である。講義の始めに当って自然科学における人間の生と死についての理解を整理する必要がある。また環境も自然科学に基礎をおく問題であるので、この面にもふれつつ話を進めたい。

社会主義建設の挫折から「脱社会主義」改革へ

家 本 博 一

— 旧ソ連邦・東欧諸国における国民の生活習慣（行動様式）の変化? について —

【内 容】

- (1) 「ペレストロイカ」以前と以後で何が変化したか。
- (2) 「1989年東欧革命」、「1991年ソ連邦解体」は、どのような変化をもたらしたか。
- (3) 国民各層は、「市場経済学」をどのように理解し、どこまでそれに対応しているか。

生命倫理と宗教

浜 口 吉 隆

キリスト教的生命観に基づいて、現代の生命科学によって提示されている諸問題を取り扱う。すなわち人間生命の尊厳思想と生命操作（人工授精、人工的延命、安楽死など）との接点を求め、生命に対する責任の倫理について講述する。

環境と経済学

水 谷 重 秋

リゾート開発による環境破壊や地球的規模での環境破壊は早急にその解決が求められている現代的課題である。これまでの経済学はそのような問題にどのように接近してきたかを紹介しつつ、真の解決法を探求する。

性と環境

泉 ひ さ

性に関することが隠蔽される傾向の強い従来の風潮に反し性を露骨に表現している現在の社会環境がかもし出している種々の性問題に真剣に取り組む必要がある。そこで人間の性（Sexuality）と環境との関係について人間学的見地に立ちつつできるだけ科学的に掘り下げて考察をすすめたい。

文学における生命と環境

内 藤 克 彦

人間とは何か、生とは何か。それを芸術的直観力によって把握し、言語の表現力によって、なんらかの意味で形象化しようとするのが文学であるとするならば、文学作品は多かれ少なかれ「生命と環境」の問題にかかわりを持つことになる。本講では、この問題が、わが国やヨーロッパの抒情詩、小説、戯曲においてどのように扱われているかを見ることにしたい。

0192 総合科目Ⅰ〔国際関係論〕（選・1・2年次・4単位・通年）

授 業 予 定 表 （毎週金曜日5・6時限）

月・日	担 当 者	題 目
4月9日	岩 島 久 夫	現代国際政治の基本構造と日本 試 験
16日		
23日		
5月7日		
14日		
21日	明 石 陽 至	東南アジア・中国・ソ連・日本 試 験
28日		
6月4日		
11日		
18日		
25日	家 本 博 一	旧ソ連邦の解体、独立国家共同体（CIS）の創設以降におけるロシアの「脱社会主義」改革—「八月クーデター」の失敗から「エリツィン改革」の軌道修正まで— 試 験
7月2日		
10月1日		
8日		
15日		
22日	渡 邊 頼 純	国 際 関 係 の 政 治 経 済 学
29日		
11月5日		
12日	岡 部 朗 一	日米間におけるコミュニケーション 試 験（渡邊・岡部）
19日		
26日		
12月3日		
10日		
17日	松 下 洋	ラテンアメリカと国際関係 （試験は後期定期試験期間に行う）
1月14日		

現代国際政治の基本構造と日本

岩島久夫

ヤルタ体制が崩壊し、世界は「新秩序」を求めてある意味では「混乱」状態におかれているといってもよいだろう。この時期に、冷静かつ客観的に戦後の「冷戦」から「冷戦後」へと急激に変容しつつある世界の構造を、「北極中心世界地図」を使って解明し、その中で「日本外交」を位置づけ将来を展望してみたい。

東南アジア・中国・ソ連・日本

明石陽至

ASEAN（東南アジア諸国連合）を中心として、地域を廻る大国との関係と地域内の連帯について考察する。

旧ソ連邦の解体、独立国家共同体（CIS）の創設以降における

ロシアの「脱社会主義」改革

家本博一

—「八月クーデター」の失敗から「エリツィン改革」の軌道修正まで—

【内容】

- (1) 「ベレストロイカ」の展開過程とその結末
- (2) 「八月クーデター」の失敗とその意義
- (3) 「エリツィン改革」の基本性格とその問題点

【その他】

* 講義内容に関連する視聴覚資料を使用する。

国際関係の政治経済学

渡邊頼純

5回講義を担当するが、前半では「西欧国家体系」や「パワー」の概念に焦点を当てつつ国際関係論の基本を学習し、その上で国際関係に現象する政治と経済のリンク（連繋）に論及する。後半ではGATTやIMFを中心としたマルチラテラリズム、ECやEFTAのようなリージョナリズム、米加自由貿易取極に見られるバイラテラリズムなど現代国際経済体制を構成する主要な原理・原則を最近の動向も踏まえながら構造的に分析、解説する。

参考文献：F. シューマン『国際政治論』（長井信一訳、東京大学出版会）；G. H. カー『危機の20年』（井上茂訳、岩波書店）；川田侃『国際関係の政治経済学』（新NHK 市民大学叢書2）；西川潤『世界経済入門 第二版』（岩波新書）。

日米間におけるコミュニケーション

岡部 朗 一

国際関係におけるコミュニケーションを国際コミュニケーションと異文化コミュニケーションの視座から、特に日米関係におけるコミュニケーション・ギャップを中心として講義を行う。

ラテンアメリカと国際関係

松 下 洋

冷戦から冷戦の終結に至る間の国際政治の動きがラテンアメリカの国際関係にいかに関与されてきたかを探る。冷戦期において、ラテンアメリカはキューバ危機（1962年）を除けば東西問題との関係は薄かった。むしろ南北問題に力を入れ、民族主義を掲げ、北と対決しながら南側を主導してきた。しかしながら、80年代以降冷戦構造が次第に崩壊するなかで、ラテンアメリカ諸国は債務危機などを契機として民族主義を後退させ、南北問題では北との協調姿勢が顕著となっている。その一方で米国とキューバの間の対立が続き、リージョナルな冷戦がなお残存している。こうした経緯から授業では、南北問題や、ラテンアメリカにおける民族主義、キューバをめぐる国際関係などを主なテーマとする。

0193 総合科目Ⅰ〔男性と女性〕 (選・1・2年次・4単位・通年)

授 業 予 定 表 (毎週金曜日5・6時限)

月・日	担 当 者	題 目
4月9日	安 田 文 吉	文学・芸能・歌謡からみた男と女
16日		
23日		
5月7日	阪 本 俊 生	男と女のコミュニケーション
14日		
21日		
28日	泉 ひ さ	心理学からみた男性と女性
6月4日		
11日		
18日	江 本 純	生物の性は“非常識”の世界
25日		
7月2日		
10月1日	濱 名 優 美	現代フランスのフェミニズム
8日		
15日		
22日	酒 井 朗	教育における男性と女性
29日		
11月5日		
12日	松 繁 寿 和	女性(遊休生産能力)の有効活用と次世代の生産
19日		
26日		
12月3日	松 倉 耕 作	男女関係に必要な法律知識
10日		
17日		
1月14日		質 疑 応 答

文学・芸能・歌謡からみた男と女

安 田 文 吉

文学・芸能・歌謡作品に描かれた男と女のあり様を、特に中世・近世を中心に考える。歌謡については記紀歌謡・梁塵秘抄・閑吟集・松の葉などを、芸能については、歌舞伎・浄瑠璃から『仮名手本忠臣蔵』『鏡山旧錦絵』『心中天の網島』などを、文学については源氏物語・とはずがたり・好色一代男・雨月物語などを素材として

検討する。

男と女のコミュニケーション

阪本俊生

男性と女性のあり方に関して、イリイチ、ベイトソン、M. ミード等を取りあげて説明します。

第1回：女（男）らしさの虚構性。（M. ミード）

第2回：じゃあ、どうすりゃいいの？（イリイチとフェミニズム）

第3回：男女関係における〈柔（やわら）〉の心。（G. ベイトソン）

心理学からみた男性と女性

泉ひさ

男性と女性の心理的特徴（知的面、感情面、性格面、性意識面など）及び性役割の違いについて考察すると共に、現代社会における男性と女性をめぐる諸問題について心理学的解明を試みる。

生物の性は“非常識”の世界

江本純

なぜ、オスとメスのふたつの性しか存在しないのか、男と女以外に3つも4つも性があったとしたら、実に奇妙な感じがするが、不合理なのだろうか。本当にオスとメスというふたつの性で生物界はうまくいっているのだろうか。なぜオスとメスがなくてはいけないのか等々。男と女、オスとメス、おしべとめしべ。私たちを取り巻く生物の世界ではこのふたつの性の存在はごくあたりまえであるが、授業ではこの常識そのものに疑問を持つことから始めよう。

もし生物が子孫を繁殖させながら存続しつづけるものであるのなら、すべての個体が子を生めるほうがいいに決まっている。つまり子供を生めない男は無用の長物に違いないということになる。実際、単為生殖といってオスがなくてもメスだけで子供をつくる生物はけっこう多い。それでも男は必要なのか。

授業では、ある現実の生物が4種類あるいは8種類の性を持つという事実から出発し、性の起源、そして生物の存続に重要な機能をはたしているオス・メスの役割を論じていく。

現代フランスのフェミニズム

濱名優美

1968年5月の「革命」以後、フランスの女性の社会的平等要求は今日ほぼ達成された。だが女性はほんとうに解放されたのか。男並みに社会進出を果たした女性は負担が増えただけではないのか。

現代フランスの女性解放論のうち、『第二の性』のボーヴォワール、『母性という神話』のバグンテール、そして現在「母であること」「女であること」の問題を根底的に問い直し、新たな女性解放を男女の性的差異に求めるイリガライについて論じる。

教育における男性と女性

酒 井 朗

自分の受けてきた、あるいは今受けている教育の中で、男性と女性の関係をめぐって何か疑問を感じたことはないのだろうか。たとえば、どうして家庭科は女だけ必修なのか、なぜ理系の進学者には男が多いのか。あるいは女子大生はなぜちやほやされるのか、女性の高学歴化が進んだのにどうして職場への進出はそれほど進んでいないのか。受講者の教育体験も聞きながら、教育と男性、女性をめぐる諸問題を検討していきたい。

女性（遊休生産能力）の有効利用と次世代の生産

松 繁 寿 和

世界は、環境、核兵器拡散、貧困、人権侵害と解決すべき問題が山積みである。このようなときに“男と女”など議論している場合ではないのではないのか。解決のためには女と男（男と女）の区別なく能力と努力の供給源として利用しつくさねばならないように思う。当然、平等に過労死も起きるし責任をとっての辞任も要求される。

しかし、問題が二つある。一つは有効に女性の能力を活用できない制度が存在すること、もう一つはもし男と女（女と男）の両方とも働くことに専念すれば先に挙げた問題を解決した後の理想的世界に住む人間がいなくなることである。従って、女性のキャリア形成の問題と出生率低下の私題を経済学の視点から簡単に概説するつもりである。

テキストは使わず、資料を配布する。

参考文献：『会社型女性：昇進のネックとライフコース』、脇坂明、同文館

『職場のキャリアウーマン』小池・富田編、東洋経済

『出生率はなぜ下がったか：ドイツの場合』E・ベック＝ゲルンスハイム 草書房

『ヒト不足社会：誰が日本を支えるのか』NHK取材班、日本放送協会

男女関係に必要な法律知識

松 倉 耕 作

標題のテーマにつき、現実に裁判所で問題となった事件を素材として、男女問題を講述したい。

具体的には、夫婦の問題と、婚姻（＝結婚）していない男女間で生じる諸問題をとり上げる予定である。

教材：講義の折りに、レジュメを配布する。

総合科目Ⅱ〔人間論〕(必・2年次・4単位・通年)

担 当 者	題 目
細 谷 博	文学に描かれた人間像
倉 田 信 子	フランス文化とフランス人
大 森 正 樹	神・世界(宇宙)・人間
長 倉 久 子	自己について
立 松 弘 孝	大思想家の人間論と学問論
赤 松 宏	実存主義思想の系譜
真 田 郷 史	「善」をめぐる問題
佐々木 亘	人間と自由
田 村 均	倫理と文化
森 際 康 友	トランス・モダンの自画像
中 矢 俊 博	経済学と人間
松 井 良 和	人間と自然
阿 江 茂	人間と環境
蛭 田 庸 代	生命(いのち)と論理(ことば)
佐 藤 信 行	〈われわれ〉についての人類学 —〈彼ら〉と〈我ら〉の間—
橋 本 昭 一	人間にとっての経済活動の意味
山 田 秀	文化倫理学の試み
杉 田 谷 道	音楽の心・ベートーヴェンの思想と精神的発展
藤 田 一 美	〈存在と意味〉から〈意味と存在〉へⅢ —浮遊する記号の時代—

0196 文学に描かれた人間像

細 谷 博

内外の近代文学名作のいくつかを読み比べ、そこに提示された様々な人間の姿と生き方、さらにその描かれ方を見つめることによって、言葉による人間把握とは何かを考える。本年度は夏目漱石の作品を読む。

0197 フランス文化とフランス人

倉 田 信 子

フランス料理からロマネスクやゴシックの大聖堂まで、フランス文化をスライドを見ながら説明する。フランス文化の基礎知識の解説から始まって、更に、このような文化を生んだフランス人とはいかなる民族か、その精神はどのようなものかを探る。

- 0198 神・世界（宇宙）・人間 大森正樹
前年度はドストエフスキー・宮沢賢治を比較して神（絶対者）の存在への問いや救いの問題、世界と人間のかかわりを問う予定だったが、ドストエフスキーにしか時間を当てられなかった。そこで今年度は宮沢賢治に焦点を絞って、上記の問題を取り扱ってみたい。（ちくま文庫『宮沢賢治全集』全八巻などが参考になる）
- 0199 自己について 長倉久子
0210
我々は種々様々な移り変わり過ぎ行くものとの出会いの中で生きている。そして我々自身も移り変っているが、しかし、それにも拘らず一人一人つねに「私」（自己）として止っている。この自己とは何かを巡って哲学や宗教は様々な角度から探究を続けてきた。西洋哲学史の流れの中で、この自己の問題がどのように提起され、どのように考察されてきたか、この一年間、時間の許す限りで探究してみよう。
- 0200 大思想家の人間論と学問論 立松弘孝
アリストテレス、アウグスティヌス、デカルト、ロック、カントたちの学説を紹介しながら、人間の本质は何か、よく生きるとはどういうことか、自由とは何か、学問の目的は何か、等々の問題について考える。
- 0201 実存主義思想の系譜 赤松宏
現代思想に大きな影響を及ぼした実存主義思想家、キェルケゴール、ニーチェ、ハイデガー、サルトルなどの思想を、可能なかぎり詳論する。
- 0202 「善」をめぐる問題 真田郷史
人間は常に「よりよいもの」を目指して生きている、と言っても過言ではあるまい。よりよい生活、よりよい人生、よりよい社会、よりよい献境……。では一体、「よい」とは何であるのか。そしてまた、この問いはどのような意味を持っているのか。古今東西の哲学者達を悩ませてきたこの問題に、我々も少し関わってみようと思う。毎時間、レポート等によって受講生全員が参加し、考え、発言できる〈場〉にしたいと思っている。よりよい講義を目指して。
- 0203 人間と自由 佐々木 亘
人間は、自らの行為に関して、何らかの自由を持っている。このことは、倫理学をはじめ、多くの学問の前提になっているように思われる。実際、自由がなければ、すべての行為は必然的なものとして片づけることも、可能なのである。しかるに、そもそも、人間が持ち得る“自由”とは、いったい何であろうか。
本講義では、特に、古代・中世における人間論を手がかりにして、身体を持った

人間が有する自由の意味について、人間疎外や性に関する今日の問題への展望を探りながら、可能な限り考察して行きたい。

0204 倫理と文化

田村 均

倫理に関する普遍主義と文化相対主義の問題を考える。個人、自由、意志、責任といった社会生活に関わる基本的カテゴリーを取り上げて、多様に分岐するこれらの概念の意味の諸相を、具体的行動の文脈の中でとらえることを試みる。

0205 トランス・モダンの自画像

森 際 康 友

現代国際社会における日本の立場と課題は、「和魂洋才」の精神で近代国民国家の体裁を整えるべく邁進してきた我が国の歴史の帰結である。そのような目で来し方をふりかえり、今後の我が国の人倫（公共倫理、政治道徳）の体系とそこでの個人としての価値観・行動原理について考えてみたい。本年度は、シナリオ分析を重視し、前近代・近代・脱近代の要素をトランス・モダンな感覚で折り込みつつある社会的存在として現代日本の人間像を描いてみたい。

0206 経済学と人間

中 矢 俊 博

過去の偉大な経済学者は、人間というものをどのように把握してきたのだろうか。人間というものは、もともと道徳的にも優れており、社会のルールをかならずや守るものであり、そうした前提に立ったうえで、自分自身の自利的な行動を追求することが、ひいては社会全体の調和を保つことにもなると考えた人がある。また、人間を精神的にも、道徳的にも、完成途上にあるものと見て、それらを覚醒させることが最も必要なことだとし、苦勞をすること、すなわち額に汗して働くこと等が、人間を人間らしくすることだと考えた人もいる。人間というものは、理性的存在であるから、合理的に行動するに違いなく、他人の言動には影響されないと考える人もいれば、そうではなく他人の言動にほとんど左右されるのが人間だと考える人もいる。このクラスでは、過去の偉大な経済学者の人間観に関する分析を通じて、人間というものを考察してみる。

テキスト：マーク・ブローグ著『ケインズ以前の100大経済学者』（同文館出版、1989）

0207 人間と自然

松 井 良 和

和辻哲郎はその古典的名著『風土』において、人間の生き方を「モンスーン」型、「砂漠」型と「牧場」型に分けたが、それは結局、人間と自然の関わり方の分類にほかならなかった。この講義はそれぞれの類型における自然観を『莊子』、『コーラン』とプラトンの『ティマイオス』の中から取り出して、和辻の分類の妥当性を

問いなおすと共に、人間にとっての「自然」の本質的な意味を考察する。

0208 人間と環境
0215

阿江 茂

生物の一種としての人間は、昔きびしい地球の環境の中で、伝染病の病原体などもふくむ他の生物と争いながら、その種を維持しつづけてきた。しかしその後次第に他の生物をおしのけて環境を独占するようになった。しかし現在の人間も他の生物と共存しなければ、食物もよい空気も得られない存在であるので、いろいろの面においてジレンマにおちいつている。この問題をその基礎科学としての生態学（Ecology）により考察し、また「環境保全」「公害」などの現実の問題にふれながら、この面より人間について考えてゆく。

0209 生命（いのち）と論理（ことば）
0216

蛭田 庸代

人が人間らしく生きるとはどういうことなのか、を生命科学・人間関係・体験学習の視点からとらえてみる。その為に、いのちの誕生・出産・教育・関わり・出会い・死などのライフサイクルの諸段階に於ける生命観・女性観・男性観の見直しや、先端医療技術・バイオエシックスの課題分析を通して、生・死の定義を私達現代人はどのようにしているかを探る。

自分を見つめることとグループと共にいることを重視し、アサーション（自己表現）トレーニングを試みたい。

0211 〈われわれ〉についての人類学

佐藤 信行

— 〈彼ら〉と〈我ら〉の間—

〈彼ら〉を〈我ら〉と劃するために用いてきた社会科学上の論理と倫理とはなんであり、何んであったのか。

学として後発の文化人類学が構築してきたキイ・コンセプト群に風化が目立ち始めている。それで詩的転換の契機をトピックス・アナリスにもとづきながら問い質してゆきたい。感性の豊かな学生の参加を望む。

0213 人間にとっての経済活動の意味

橋本 昭一

生きるために働かねばならないという人の数が減少している。そういう社会・時代であれば余計に何のために生きるかについての自覚が求められる。

経済活動がどのような姿をとるのが望ましいかについて、偉大な思想家が多くの発言をしてきた。それらの発言は、ある種の世界観や人間観に裏付けされている。ある時代にある人が、人間の経済活動の理想像をどのように描いていたかを、特に18・19世紀に活躍してあつた経済思想家数人を取り上げ、今日の日本人が忘れてい

ものが何であるかを探ってみたい。この一年間で、例えば岩波文庫の白帯を数冊丹念に読んで貰えればと期待している。

〔経済学部以外の受講生を歓迎する〕

0214 文化倫理学の試み

山田 秀

伝統的自然法論の観点から、文化（倫理学）の問題を考察してみたい。先ず、その前提として、良心、自然法、習慣（徳、悪徳）、倫理秩序の問題を取上げる。しかる後に、「文化」を「生のかたち」、「価値秩序」、「課題」の三側面から考察する予定である。

0217 音楽の心・ベートーヴェンの思想と精神的発展

杉田 谷 道

音楽は聖アウグスティヌスによれば「魂を神性に向わしめるための神よりの賜もの」であり、孔子は「詩書礼楽」（詩に興り 礼に立ち 楽に成る）と音楽による自己教育の完成、を訓いた。音楽の心とは「和の心」であり、ロゴスの霊妙なハーモニーをつくる「心から心へ」のもっとも純粹で高尚なコミュニケーションである。

ベートーヴェンの32のピアノソナタは音楽の新約聖書に譬えられるが、それは自己の内奥に聴いた Vox Dei（神の声）を完全な形式において誌し、一つのものを最後まで追求した彼の精神的発展と、心の勝利の証しであるからである。

この講座では主要なソナタを選び、実際のピアノ演奏によって、音符の背後にある意味、イデーの発展と形式を解明し、ベートーヴェンの心を探る。人類友愛のシンボルであるベートーヴェンを知ることは、芸術のみならず人間の生き方、求道へのインスピレーションとなるであろう。

テキスト：ロマン・ロラン著『ベートーヴェンの生涯』（岩波文庫）、『ベートーヴェン研究』（みすず書房）或は『ロマン・ロラン全集』23、24巻『ベートーヴェンピアノソナタ集（原典版）』又は『ポケットスコア』（音楽之友社）

（附記）

聴講の条件は楽譜が読めベイトンヴェンソナタの縮小全集版（LEA Pocket Music, etc.）を持参できること。

0218 <存在と意味>から<意味と存在>へⅢ

藤田 一 美

一 浮遊する記号の時代一

実存主義のひとつの重要な命題は<実存（existentia）は本質（essentia）に先立つ>ということであった。この言葉の系譜はひとつにはニーチェの「目的や統一性あるいは存在という、それをもって我々がこの世界に価値を置入れたそうしたカ

テグリーが再び我々から抜き去られてしまう——そして今や世界は価値なきものと見える」という言葉がある。そして現代は一昨年度よりの講義でも述べたように、様々な諸理念が帰属するトポスを喪失しているかに思える時代である。ある意味で、ポストモダン社会と言われる現代において、人や芸術はこの世界の中で自己の意味をどのように帰着させようとしているのか。或いはむしろそもそもそのようなことを目指してはいないのか。政治の世界が理念よりは手段を、論理よりは操作のレトリックを弄んでいるのと並行して、我々の文化も、折々の意味が現れては消えるような、一面では豊かな、他面ではアトポスな、不安な浮遊を楽しんでいるように見える。このような時代の政治上及び文化上の状況を〈存在〉と〈意味〉或いは〈主語〉(ないし〈基体〉)と〈述語〉そして〈世界〉と〈個体〉という対概念を思考軸として考えてゆきたい。本年度はとりわけ〈おだやかなニヒリズムとポスト・ポストモダニズム〉という観点より諸現象について論及してゆくつもりである。

【キリスト教概説】

講義概要

0221 キリスト教概説（特）（必・1年次・4単位・通年）神学科用

浜口 吉隆

キリスト教神学を学ぶために必要と思われるキリスト教の信仰内容を全般的に取扱う。聖書と教会の公文書などに基づいてキリスト教の固有性を探求し、現代社会における信仰生活の意義を明らかにするように講述する。参照文献はその都度紹介する。

0222
0244 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年）

M. Calmano

南山大学の教育理念である「HOMINIS DIGNITATI」（人間の尊厳のために）という言葉の底流をなす、旧・新約聖書とキリスト教の精神と「信仰」を概説する。

0223
0227 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年）

枝村 茂

キリスト教は一つの宗教的文化現象であるという前提にたつて、前期は宗教の定義、宗教現象、宗教の機能、類型等について論述する。後期はキリスト教の起源としてのイスラエル教の歴史的背景と、キリスト教への発展の系譜を明らかにする。次にイスラエル教とキリスト教の信仰の源泉としての聖書について説明し、聖書の根本的理念、神への道、創造、キリスト教的人間観、悪、罪、死と救いの問題について論述する。

0224 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年）

E. Rucker

聖書の講読にもとづいて、宗教現象を考究する。

とくに、次のような宗教文化的な概念を分析して、キリスト教の信仰を紹介する：神の民、啓示、創造、罪、悪、救い、預言者、信仰、並びに：愛、死、良心、祈りなど。

0225
0245 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年）

J. Schubert

人類と共に歩む神

前期において、神との関わり合いを世界の大宗教を通して認識させた上、旧約聖書の契約、及び選民の歴史を旧約聖書の抜粋でもって説明する。

後期は、特に預言書に基づいてイエズス・キリストの到来を説き、メシアの役割を鑑み、旧約聖書と新約聖書の内容的一致に重点を置く。

テキスト：旧約聖書抜粋、及びプリント、新約聖書

0226
0230 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) W. Dunphy
0239

聖書の内容およびキリスト教の概括的な歴史を紹介した上で、キリスト教における神概念と世界観・人間観を考える。

テキスト：聖書(旧約・新約)

0228
0232 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 五百旗頭 博治
0246

1. 宗教・宗教学への案内(前期)：宗教とは何か、宗教学とは何か、それらと哲学・文学・芸術との関係、キリスト教と他宗教との関係等に触れた後、代表的哲学者・神学者・文学者・歴史学者等の宗教観・人生観を作品を通して学ぶ。
2. 旧約聖書への案内(後期)：先ず、聖書の名称と正典、イスラエルの地理と歴史のアウトライン、聖書を構成する資料等について説明する。続いてテキストに基づき旧約聖書の主要思想を学ぶ。関連的にキリストの思想やキリスト教神学への展開についても補説する。

テキスト：聖書(後期)

0229
0238 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 石 脇 慶 總

初めて「キリスト教」に接する人々を想定して、キリスト教とは、どんな宗教なのかと言うことを、古イスラエルの時代から時の流れに従って概観し、最後に、第二バチカン公会議の『現代世界憲章』を拠り所に「キリスト教倫理」の若干の問題点を考察する。アカデミックな講義でなく、宗教放談的に展開したい。受講者の積極的参加を求める。

0231
0237 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 青 山 玄

キリスト教成立の歴史的地盤：信じることはどういうこと、聖書はどういう本、などの問題を扱った後、旧約聖書の創造物語、アブラハム物語、出エジプト記などから始めて、特に旧約時代末期のユダヤ史とキリスト教成立の事情、ならびにその宗教的特徴について考察し、時間があれば、初期キリスト教史についても扱う。文献は講義の中で紹介するに留め、教材の一部はプリントで配布する。後期には新約聖書も使うので、受講者にはその時新約聖書の持参が勧められる。

0233 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 浜口吉隆
0243

人間社会における宗教の諸現象を考察し、信じて生きることの意義を問う。内容としては聖書の中心的な教え、例えば創造と救い、愛、罪と死などをユダヤ教とキリスト教の視点から取り扱う。キリスト教とその人間観に関する基礎的また教養的な理解を得るように講述する。テキストは①聖書(新約・旧約)②浜口吉隆編著『キリスト教概説』を用いる。

0234 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 狩浦正義
0241

(1)人間の精神活動の営みの中での宗教の機能。信じることの意義について考察する。
(2)古代イスラエルの信仰とキリストの教えとの関連について講述する。
参考文献は講義の中で紹介、聖書(旧約・新約)を持参するよう勧める。

0235 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 野村純一
0240

1. 人間にとって宗教は何であるかを、宗教が人間のものの考え方、思想、行動等に及ぼしている影響をもとに考察。
2. キリスト教の母体としての古代イスラエル共同体の仰と思想、次いで、キリストの教えの根本を探究。
参考文献は講義の中で紹介。後期には聖書(旧約・新約)を持参するよう勧める。

0236 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 久松英二
0242

キリスト教はまず一つの宗教的文化現象であるという前提にたって、人間社会における宗教の機能を考察する。次に、キリスト教の原典である聖書に注目し、古代イスラエルからキリスト教への発展史を概観する。最後に、キリスト教会の現代社会における意義を問う。

B. 外国語科目

【第一外国語および第二外国語】

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0251 } 0397	英 語 I	1	必	4	T. Bauerle L. Hanzel	文学部英文学科・ 外国語学部英米科 ・日本語学科は必 修 8 単位
0401 } 0497	英 語 II	2	必	4	D. Mayer P. LaForge L. Loschky J. Mainland T. Murphey J. Nord W. Purcell B. Wagner M. Wright G. Yardley J. Vincenti D. Dunkley I. Harnett G. Ishige J. Ives T. Kenny D. Kluge J. Lenihan M. Loschky D. McCreath M. Oehler B. Perry R. Rathburn K. Ryan	

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
					P. Rush M. Rycroft M. Monaghan K. Yasuda J. Williams T. Warren 橋本 惠 松永 隆 鈴木 達也 鈴木 孝夫 玉崎 孫治 日野水 憲 足立 公也 安藤 光史 岩本 典子 石塚 倫子 五島 幸一 日木 満 平出 昌嗣 平野 順雄 堀部 憲夫 稲生 幹雄 磯部 哲也 香取 真理子 川村 陽子 河村 春美 三杉 圭子 溝口 健二	

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0501 0584	フランス語 I 文法 2単位 講読 2単位	1	選	4	長江 芳夫 長岡 美晴 小澤 正人 酒井 洋子 佐藤 恵子 進藤 謙之助 滝川 睦 田中 幸子 戸澤 裕子 宇納 進一 渡辺 義和 山田 真規 松岡 光治 栗村 道夫 栗須 公正 J. Schubert 練尾 毅 濱名 優美 倉田 信子 丸岡 高弘 森田マリ・アニエス 熊沢 一衛 浜本 正文 長谷川 太郎 飯野 和夫 R. Holland 宮坂 喬 佐田 収	文学部仏語学 仏文学科は必修 8単位

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0601 0686	ドイツ語 I 文法 2単位 講読 2単位	1	選	4	鈴木 覚 滝沢 隆幸 原田 武雄 内藤 克彦 生野 芳徳 石井 賢治 横田 忍 L. Dražanová E. Rucker 大庭 正春 小坂 光一 岸田 芙美子 金子 章 A. Plum 清水 純夫 松浦 順子 中嶋 忠宏 柴田 庄一 成田 克史	文学部独語学独文学科は必修 8単位
0701 0744	イスパニヤ語 I 文法・講読 2単位 会話・作文 2単位	1	選	4	A. Cárdenas 大岩 勉 高橋 覚二 芝 修身 木下 登 佐竹 謙一 安原 毅 E. Goicoechea 有本 紀明	外国語学部イスパニヤ科は必修 8単位

科目 コース	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
					伊藤モンセラート 小知和 優 治 利 光 和 彦 布 施 温 坂 田 幸 子 角 田 哲 康 牛 田 千 鶴 宮 下 克 子 富 野 幹 雄 丸 山 め ぐ み	
0751 } 0752	ブラジルポルトガル語Ⅰ 文法・講読 2単位 会話・作文 2単位	1	選	4		
0761 } 0768	中 国 語 会 話 2単位 語 法 2単位	1	選	4	中 裕 史 陶 山 信 男	
0791	ラテン語Ⅰ〔神〕	1	必	4	吉 田 聖	
0792	ラテン語Ⅱ〔神〕	2	必	4	吉 田 聖	
9901	日 本 語	1		8	伴 紀 子 大 塚 容 子	「外国人留学生の 授業科目履修に関 する特例」該当者

専門教育科目としての英語Ⅱ、フランス語Ⅱ、ドイツ語Ⅱ、スペイン語Ⅱ、ブラジルポルトガル語Ⅱ、ラテン語Ⅰ・Ⅱについては専門教育科目の関係の箇所を参照のこと。

【第一外国語および第二外国語】

講義概要

英 語

今日、世界で英語が果す重要な役割はよく知られている。従って、南山大学では全学生が今までの学習に引き続いて英語の能力を向上させることが出来るよう適切な機会を与えることに多大の関心を払ってきている。

英語学英文学科及び英米科の学生には、第1学年において半ば集中的な英語の訓練が行われる。英語の母国語とする外国人教員による週3回の英会話の授業があり、又監督教員の指導の下に週3回のランゲージラボラトリーにおける練習もある。これに加えて毎週訳読もしくは作文の授業も行われる（詳細については各学科のカリキュラム表を参照のこと）。

仏語学仏文学科・独語学独文学・イスパニヤ科及び日本語学科学生には訳読及び英会話の授業がある。各学科において必要とされる外国語に習熟する一方で、英語の能力を維持し高めていくことが望まれる。

上記の学科以外の学生には、2年間に亘って毎週総合英語と訳読の授業が行われる。（ただし、経営学科の学生のうち国際経営プログラムを取る者には2年間に亘って週2回の英会話の授業が行われ、神学科で英語を第二外国語として選択した学生は一年次のみ総合英語と訳読を履修する）。総合英語は、その多くの授業は外国人教員によって行われるものであり、読むことと同時に話したり聴いたりする能力を高めることにその力点を置いている。訳読の授業では、広い範囲にわたる教材が扱われ、英語で書かれている作品を理解し、日本語に訳せる能力を高めると同時に一般教養の向上に資することをその目的としている。

英語学英文学科・英米科以外の学生には上記の他に随意科目としての英語Ⅱ（90生以上は上級英語）訳読・作文・会話が開講されておりいっそうの語学力を養う道が開かれている。

フ ラ ン ス 語

フランス料理、フランス映画、フランス絵画、フランス文学、ファッション、ジャンソンなどを通じて私たち日本人にも身近なフランス語は、フランス本国以外にカナダ、ベルギー、スイスほか、アフリカ諸国など全部で三十数か国において用いられる有力な国際語の一つです。

フランス語を第一外国語として学ぶ場合は、おもに視聴覚教育方式により、フランス人と日本人の教師がタイアップして教え、ことばの生きた運用力（聴く、話す、読む、書くの四技能）を体系的に身につけることを目的としています。

第二外国語としてフランス語を選択する場合には、伝統文法の優れて分析的な方法を用いて、文献解読、情報収集、実務などにも役立つような語学力の習得を目指します。

外国語の勉強は、毎日が未知の世界の発見です。ことばを通して私たちは初めてその言葉を使う人々の生活や意見を知ることができます。「知る」ことによって自分の世界が広がっていく喜びを味わってみましょう。

ド イ ツ 語

ドイツ語は英語と同じゲルマン語の仲間です。現在ではドイツ、オーストリア、スイスで日常に使用されています。わが国では特に教養外国語として重要視されてきた長い歴史があります。そのため従来の授業においては読解力の養成に主力を注ぐ傾向があったことは否定できません。

しかし今日のように国際社会の中での文化や産業の相互交流が盛んになってきた時代においては、ドイツ語の授業も単に読む力ばかりでなく、話す力、聞く力の養成にも力を入れなければならなくなってきました。

そのため本学においては、ドイツ語をまずアクチュアルな外国語として学習できるように、視聴覚教育機器を利用した授業を主体とする方針を取っています。美しいドイツ民謡や歌曲、ビデオなども適宜利用して、できるだけ親しみやすくわかりやすい、楽しいドイツ語の時間にしたいと考えています。

第2外国語としてのドイツ語の時間は第1外国語としてのドイツ語の時間よりずっと少ないので、表現力より理解力の養成の方に重点を置かざるを得ませんが、1年間で基本文法はすべて修得できるようにしてあります。希望者には第2年次以降も学習できるようにドイツ語科目が開講されていますので、ぜひそれを利用してほしいと思います。

「外国語を知らない者は自分の国のことばをも知らない。」とゲーテはいいました。古いゲルマンの時代からの精神文化の蓄積の中で養われ発達してきたドイツ語との触れ合いを通して、諸君の日本語に対するセンスを磨かれることを期待しています。

イ ス パ ニ ャ 語

新入生の諸君にとっては、スペイン語というより、スペイン語といった方がわかりやすいかと思います。スペイン語は、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語と同じくラテン語から変化した言語です。

現在では、スペインはもとより、メキシコ、それにグアテマラからパナマに至る中米の国々、そしてコロンビア、ベネズエラからアルゼンチン、チリーに至る南米の国々で使用されています。中南米諸国との経済面での関係を一層深めていかなければならない日本の立場からすれば、これらの地域で使用されているスペイン語の理解

は非常に大切だと言えるでしょう。

スペイン語は、発音が日本語とよく似ており、ローマ字読みするだけで結構相手に通じます。単語も基本1,000語で81%以上の会話ができると言われていたし、語順なども日本語と同様に規則がゆるやかなため、我々日本人にとって最も親しみやすい外国語のひとつだと言えましょう。理解力は表現力の基礎となるので一年次では文法・講読を会話・作文より重要視します。一年間まじめに勉強すれば中級程度の読みものならば辞書を片手に読めるだけの理解力、および現地での旅行がなんとかできるだけの表現力を身につけることが可能です。二年次以降も随意科目として講読や会話の勉強を続けることができます。

ブラジルポルトガル語

ブラジルポルトガル語とは、ブラジルにおいて使用されているポルトガル語という意味です。ポルトガル本国のポルトガル語とは、発音や語彙の面で若干の差があっても、本質的には同じですから、単にポルトガル語という人もいます。

いずれの名称を使うにせよ、ブラジルポルトガル語は、スペイン語と同様に、ロマンス系諸語の中の一つであり、スペイン語、フランス語、イタリア語などとは姉妹語の関係にあります。特にスペイン語とは著しく類似し、日本人には比較的学びやすい外国語と行うことができます。

ポルトガル語は、ブラジルのほか、ポルトガルはもちろんアンゴラ、モザンビークなどの旧ポルトガル海外領において、公用語になっていますが、ラテン・アメリカ諸国の中でも、特に日本からの進出企業を数百社も受入れているブラジルとの関係を考えると、将来に対する布石として、ブラジルポルトガル語を勉強しておくことは意味あることと考えられます。

中国語

中国には50を越える民族が生活しており多様な言語を使用しています。その中で人口の9割以上を占める漢民族の言語はこれを「漢語」といいます。しかし、広大な中国大陸のことでありますから、「漢語」と一口にいっても地域差が非常に大きく、漢民族同士でもその方言圏が異なれば意志の疎通は全く不可能といってよいでしょう。そこでつくり出されたのが標準語です。北京の言葉に基づいたもので、ラジオやテレビ、学校などを通じ全国に普及しています。これを「普通話」といいます。また、「国語」や「華語」などといったりもしますが、台湾や香港、シンガポールなどにおいても標準語は広く用いられています。われわれの学ぶ中国語とはこの標準語なのです。

実際の学習においては、第一に、初歩的な会話の力が具わることを目指します。そして受講生の到達した水準を確認するために、適宜暗誦や聞きとりの考査をおこないます。また、学期途中から、翻訳演習をとりいれ、基本的な読解の力の養成を

もはかります。

目で見るとわかるような気がするけれども耳で聞くとやはり外国語であることを意識させられる、それが中国語です。心して取り組まれますよう。

ラテン語

I. 南山大学のラテン語について

(1) ラテン語は、大学でしか学べない言語の一つです。十二の主なインド・ヨーロッパ語族の一つであるラテン語が「母親」となり、「ロマンス語」といわれる「子どもたち」、即ちフランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語・ルーマニア語が生まれました。したがって、この母親と「子どもたち」とは顔も形も（つまり単語も文法上の形も）とてもよく似ており、語源的に共通性があります。ゲルマン語系のドイツ語や英語も影響を受け、英語は7000語以上の単語をラテン語から受け取り、今もそのまま使っているのです！ ラテン語を学ぶにつれて、きっと懐かしい「旧友との再会」にも似た喜びを味わうことでしょう。このラテン語は、西欧の諸言語および古典文化の源流として、今も興味の尽きないものがあります。

(2) 南山大学の教育理念はラテン語で、HOMINIS DIGNITATI と言い For Human Dignity、「人間の尊厳のために」という意味です。G棟ロビーの壁にはこの他にも「ラテン語文」が6つ掲げられていますが授業で詳しく解説します。

ラテン語の名詞・形容詞・代名詞・動詞は緻密な「語尾変化」するので、「文法は複雑だな」と思うかもしれませんが。発音はやさしく、ミサ曲など教会音楽を通して今でも親しまれています。ラテン語の授業は、高校時代の英語学習にありがちな単語や文法の丸暗記ではありません。上述の諸言語の中に、そして私たちの日常生活の中に生きているラテン語を「再発見」し、ラテン語を学ぶことが意外と喜びや楽しみになるような授業です。先日、愛知県内で英語の先生をしている'82年生のOBのY君が数年振りに訪ねて来て、授業で使ったラテン語の文法書とプリント類を見せながら、とても投に立っていますよ、と言ってくれました。

(3) “Studia adolescentiam alunt, senectutem delectant.” (Cicero 106-43BC)「勉強は青年を養い、老年を楽しませる」。2000年以上も昔のキケロのこの言葉のように、青年時代のラテン語の学習は、複数言語間の語源的な知識を深めるだけでなく、英知あふれる格言や箴言、聖書の言葉の理解、そしてラテン語の音楽鑑賞などにより、豊かな教養を身につけさせ、学ぶ人の人生をきっと豊かで楽しいものにするでしょう。特に2・3・4年次生で、将来、語学の教員になりたい人、語学に興味のある人、あるいは時間割りにゆとりがある人、大学時代にしか学べないものを搜している人に、「ラテン語Ⅰ（初級）」[「ラテン語Ⅱ（中級）」はラテン語Ⅰ履修者対象]をすすめます。英語以外の語学（フランス語・ドイツ語・イスパニア語）を第一外国語とし、さらにラテン語も勉強する1年次生の場合、二つの言語の同時学習から生じる混乱を避ける意味で、ラテン語の方はなるべく2年次

以降に履修するようにしたらよいでしょう。(なお、「ラテン語Ⅰ(初級)」、「ラテン語Ⅱ(中級)」の講義概要については、文学部開設共通自由科目の頁を参照。)

Ⅱ. 第一外国語、第二外国語(いずれも神学科)としてのラテン語について。

(1) 1990年9月開催の文学部教授会で学則変更が承認され、翌1991年度新入生より神学科の第一外国語(8単位)の改訂が次のように実施されました。即ち①従来「ラテン語のみ」であったものが、改訂後には「ラテン語」または「英語」の中から一科目の選択が可能となり、②履修期間も従来の「一年間」から、文学部の哲学・人類・教育など非語学系学科と同じように「二年間」となりました。学科別カリキュラム表、神学科参照(102頁)

(2) 補足説明として、①神学科所属の「神学生」、即ち将来、複数の外国語を必要とする宣教師(司祭や修道者)を目指す教皇庁認可神学部にも所属する学生の第一外国語は従来通りラテン語(8単位)です(第二外国語は英語・フランス語・ドイツ語の中から一科目の選択が可能。)参考までに、『カトリック新教会法典』(有斐閣 1992年2月)によれば、「司祭養成に関する要綱は、学生が自国語を正確に学ぶだけでなく、ラテン語に精通し、学生の養成又は司牧的奉仕職の実践に必要な若しくは有益であると思われる他の外国語をも十分習得するよう規定しなければならない」(第249条)とあります。

②神学科所属の「一般学生」は英語(8単位)を第一外国語に選択可能です(その場合第二外国語・ラテン語Ⅰが必修科目。)したがって、英語を第一外国語にする神学科の一般学生でも卒業資格をえるために「ラテン語Ⅰ〔神〕」を必ず履修する必要があります。

以上、改訂後の履修要項について『学生便覧』や『学生生活案内』には説明文としてこれまでに正確に記載されていなかったもので、ここに明記して、学生の注意を喚起しておきたいと思います。

(文責：ラテン語担当 吉田 聖)

0791 ラテン語Ⅰ〔神〕 (必・1年次・4単位・通年) 神学科用

吉 田 聖

ラテン語の基礎知識の習得

“Gutta cavat lapidem, non vi, sed saepe cadendo.” 「水滴は力によってではなく、何度も落ちることによって、石さえも穿つ」(格言「点滴石をも穿つ」)。ラテン語の学習も同じことで、一夜漬けは効かない。水滴のように継続的で、地道な予習・復習など、小さな努力の積み重ねが必要である。現代の諸言語と語源的に共通性のあるラテン語を一年かけて学び、その文法や単語など基礎的知識を身につける。文法書と辞書は全員同じものを使用するため、最初の授業で指示する。教材はプリントにして配布する。

0792 ラテン語Ⅱ [神] (必・2年次・4単位・通年) 神学科用

吉 田 聖

ラテン語の文献講読

“Non potest arbor bona fructus malos facere, neque arbor mala fructus bonos facere.” (Mt 7, 18)「良い木が悪い実を結ぶことはなく、また悪い木が良い実を結ぶこともできない。」(マタイ7, 18)。「ラテン語Ⅰ [神]」を履修できた学生は、さらに良い実を結ぶように努力する必要がある。基礎的知識を駆使しながら、聖書や典礼、教父の著作や公会議文書など、ラテン語の文献を一年かけて研究し、読解力を養う。文法書と辞書については、最初の授業で指示する。教材はプリントにして配布する。

9901 日 本 語 (1年次・8単位・通年)

伴 紀 子
大 塚 容 子

日本語力が不足している留学生及び帰国子女を対象とした授業である。大学での専門的勉学には、1) 講義が聞ける、2) 論旨の整った、ある程度の長さのレポートが書ける、3) 専攻の分野の専門書が読める、という言語能力が要求されるので、この能力を高めることを目標に速読、精読、そして作文練習に重点を置く。しかし、履修者の専門がかなり違うので、教材は語彙や内容の偏りを避けるために中庸のものを使用する。

この日本語履修に関しては「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」を参照、p. 570参照。

C. 保健体育科目

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0801 0812	保健体育理論	1	必	2	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 中路恭平	
0813 0814	保健体育理論(再)	2・3・4	必	2	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏彦 西垣完彦 松岡弘記 福田和夫 小澤英二 鬼頭伸和 石田幸栄 山本俊彦 高橋繁浩 松井健	再履修者用 (前期) 総合コース (後期) ソフトボール (男女) 硬式テニス(男女) ハンドボール(男女) バスケットボール (男女) 卓球(男女) バトミントン (男女) サッカー(男) 水泳(男女) 柔道(男) 剣道(男女) アーチェリー(女) エアロビクス(女) 総合(男女)
0821 0826	体育実技 I A	1	必	⅓	松岡敏彦	
0831 0836	体育実技 I B	1	必	⅓	松岡弘記 福田和夫 小澤英二 鬼頭伸和 石田幸栄 山本俊彦 高橋繁浩 松井健	
0841 0843	体育実技 II	2	必	⅓	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏彦 山沢和子 杉山教俊 小渡辺彦 脇田裕久 高木英樹 中村哲夫	(前期または後期) ソフトボール(男女) 硬式テニス(男女) ハンドボール(男女) バスケットボール (男女) 卓球(男女) バトミントン(男女) サッカー(男女) 水泳(男女) 柔道(男女) 剣道(男女) バレーボール(男女) アイススケート (男女) 野外コース (登山キャンピング) (男女) *昭和62年度以前入 学生で、既に体育修し 実技Iの単位を修得 した学生に対しての 体育実技IIの 単位は1単位

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0861 } 0866	体育実技Ⅲ	2・3・4	随	1	{ 岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏恵	ソフトボール (男女) テニス (男女) アイススケート (男女) その他実技Ⅱにおけ る開講科目
0821 } 0826						要医療者等
0831 } 0836	体育実技ⅠA・ⅠB・Ⅱ (特)	1・2	必	各 $\frac{2}{3}$ *	松岡敏恵	*昭和62年度以前入 学生で、既に体育 実技Ⅰの単位を修 得した学生に対し ての体育実技Ⅱの 単位は1単位。
0841 } 0843						
0868	体育実技Ⅲ (登山キャンピング)	2・3・4	随	1	{ 榎本鐘司 中路恭平	
0869	体育実技Ⅲ (スキー)	2・3・4	随	1	{ 岩見恒典 中路恭平	

【保健体育科目】

講義概要

0805 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 岩見恒典
0806

われわれが生きがいのある充実した人生を全うするための基盤の一つに、明るく心豊かな生活の実現があげられよう。そのためには、自己の健康や体力に応じて、その維持増進を実践することが必要であろう。今年度は健康や体力に対する概念を整理するとともに、健康の増進や体力の向上に関する研究成果を解説し、その望ましい在り方について考えてみたい。なお、テキストは使用しないので、必要に応じ資料を配布する予定である。

0807 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 岩見恒典
0808

われわれが生きがいのある充実した人生を全うするための基盤の一つに、明るく心豊かな生活の実現があげられよう。そのためには、自己の健康や体力に応じて、その維持増進を実践することが必要であろう。今年度は健康や体力に対する概念を整理するとともに、健康の増進や体力の向上に関する研究成果を解説し、その望ましい在り方について考えてみたい。なお、テキストは使用しないので、必要に応じ資料を配布する予定である。

0811 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 寺田邦昭
0812

私たちの活動を支えている身体諸機能の中から、筋機能・神経機能・呼吸機能・循環機能などを取り上げ、運動との関わりや機能向上法などについて解説する。また、「健康」に対する関心が高まっている昨今であるが、運動による「積極的健康」づくりや環境破壊、医療制度など、健康を取り巻く諸問題についても考察を行う予定である。加えて、スポーツが大衆化し、生活の一部になりつつある現状に鑑み、それらを歴史的に振り返ると共に、現代社会に於けるスポーツの意義・問題点について検討を加える。

0801 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 三浦修史
0802

現代人の健康維持にはたす身体運動の役割

今日、学校、職場等の環境は厳しさを増し、多くの人々が外界からのストレスにさらされている。その結果多くの半健康状態の人が存在するといわれている。そ

ここで本講義では、変動する現代社会がもたらすストレスとそれらに反応する現代人について具体的に考えるとともに、ストレス・マネージメントにはたず身体運動の効果についても学習する。

0803 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 榎本 鐘 司
0804

現代と健康・スポーツ

講義におけるテーマの設定は以下のようである。1. 貝原益軒の「養生訓」(東洋的身体論) 2. ヒポクラテスの食養生と体操 3. 日本人の健康 4. トレーニング論 5. 身体運動の技術 6. 運動技術(動作)の習得方法論 7. 遊戯について 8. 娯楽とスポーツ(中世と娯楽) 9. イギリスにおける近代スポーツの形成、10. 近代スポーツの負の側面、11. ライフスタイルとスポーツ(展望)

以上の講義を通して、現代社会・生活の変容に則したスポーツ認識を深め、実技授業と相互補完してスポーツ的自立のための実践的方法を提供することをねらいとする。

0809 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 中 路 恭 平
0810

— 現代社会における健康・体力とスポーツ —

運動不足、栄養過多、ストレスは現代社会においての健康を阻外する3大要因である。ややもすれば不健康な生活に陥り易い現代社会において、いかに健康を保持し、積極的な社会生活をおくるかは現代人に与えられた課題といえよう。前期では、これら健康・体力問題を運動との関わりにおいて解説する。

また、運動やスポーツの行い方はその時々の社会的背景と密接な関係がある。後期では、人類がこれまでどのように運動・スポーツと関わってきたか歴史的に概観したうえで、現代におけるさまざまな問題点を検討し、運動・スポーツの生活化の方策を探る。

0813 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 中 路 恭 平
0814

内容は前述の保健体育理論(中路担当)とほぼ同じである。

体育実技 I A (必・1年次・%単位・前期)

体育実技 I A では、基本的な運動能力を高めるため、受講者は全員、テニス、バレーボール、卓球、バドミントン、水泳、バスケットボール、ハンドボール、トレーニング、陸上競技などのうち数種目の組合せよりなる総合コースを選択し、それぞれの種目を数週間づつ履修する。担当者は I B の担当者と同じである。

体育実技 I B (必・1年次・%単位・後期)

体育実技 I B では、テニス、サッカー、バスケットボールなどのスポーツ種目を教材として、履修者は、当該時限に用意された種目の中から 1 種目を選択し、後期間中を通して履修する。ここでは、それぞれの種目のもつ基礎的技術の習得と、その応用としてのゲーム等を通して、基礎的運動能力の向上をはかり、あわせて協調性や、責任感など、好ましい社会性の育成に努める。担当者は以下の通りである。

岩 見 恒 典	寺 田 邦 昭	松 岡 敏 恵
三 浦 修 史	榎 本 鐘 司	中 路 恭 平
西 垣 完 彦	石 田 幸 栄	小 澤 英 二
鬼 頭 伸 和	山 本 俊 彦	島 岡 みどり
高 橋 繁 浩	福 田 和 夫	松 岡 弘 記
松 井 健		

体 育 実 技 II (必・2年次・%単位・前期又は後期)

但し、昭和62年度以前の入学生で既に実技 I の単位を修得した学生に対しての実技 II の単位は 1 単位。

体育実技 I における後期の場合と同様に、1 種目を前期または後期いずれか半期間履修する。教材としてとりあげる種目は、体育実技 I とほぼ同様であるが、ここでは個々の種目の持つ基本技術の練習を通して、それらの種目の特性を学ぶとともに、基礎体力の向上に努める。また試合経験を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップ、フェアプレーの精神など、健全な社会人としての資質の涵養に努める。担当者は以下の通りである。

岩 見 恒 典	寺 田 邦 昭
三 浦 修 史	榎 本 鐘 司
中 路 恭 平	松 岡 敏 恵
杉 山 和	渡 辺 俊 彦
小 沢 教 子	脇 田 裕 久
高 木 英 樹	中 村 哲 夫

体育実技 I A・I B・II (特)

要医療者等

身体障害者や医師の診断により医療または生活指導を必要とする学生の実技として、軽スポーツを教材としてとりあげ、履修者個人の体力に応じた運動処方をおこなう。

松 岡 敏 恵

体育実技Ⅲ（随・2・3・4年次・1単位・前期又は後期、および集中）

従来、学校体育で取りあげられて来たスポーツ教材は、競技的なものが多く、それが直接卒業後のスポーツ活動と結びつくものは少ない傾向にある。そこで、実技Ⅲではアイススケート・登山キャンピング・スキー等、広く一般社会で親しまれている野外スポーツ種目を選び、その生涯体育への足がかりとしての基礎的学習をおこなう。また、テニス・卓球・サッカーなど学内でおこなわれるスポーツ種目の受講希望者に対して、その履修の道が開かれているが、選択種目は、登録時に希望種目を予備選択することによって、前期第1週に確定するので、教務課窓口で種目選択の手続きをした上で、登録すること。担当者は以下の通りである。

岩見恒典	三浦修史
寺田邦昭	松岡敏恵
榎本鐘司	中路恭平

野外コース（集中）について

野外コースは、大自然とのふれあいの中で自然の厳しさを体験すると同時に、グループ活動・団体生活を通して社会性を養い、生涯スポーツとして生活を豊かにできるようにその基礎づくりを目的に開講されており、以下の種目がある。

○登山キャンピング（体育実技ⅡおよびⅢ）

登山キャンピングは、富山県立山連峰を中心に7月下旬の3泊4日、定員40名で実施されるが、これに先だち学内実習が予定されている（詳細は別紙実施要項参照）。実技Ⅲとして履修する場合にはコードNo.0868に登録の上、教務課窓口にて実施要項を受取り、参加申込の手続きをすること。実技Ⅱとしての履修は、定員に余裕のある場合、体育実技Ⅱの前期授業開始第1週の種目選択時に希望者を受けつけるので、授業終了後、参加申込等の手続きをすること。

榎本鐘司	中路恭平
------	------

○スキー（体育実技Ⅲ）

スキー実習は、4泊5日で実施されるが、これに加えて学内実習が予定されている。履修登録には、コードNo.0869に登録の上、教務課窓口にて実施要項を受取り、参加申込の手続きをすること。なお、定員は30名であり、登録者が多数の場合には、初心者および3・4年生を優先する。 岩見恒典 中路恭平

なお、野外コースにおいては、登録後における履修取消し、あるいは授業欠席等は授業実施上大変不都合となるので、充分注意の上登録すること。

共通必修専門教育科目

【キリスト教思想】 —キリスト論—

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0901	キリスト教思想 I	2	必	2	石橋 泰助	
0902					岡崎 才蔵	
0903					石脇 慶總	
0904					E. Rucker	
0905					W. Dunphy	
0906					R. Szimpl	
0907					熊木 建郎	
0908					枝村 茂	
0909					五百旗頭 博治	
0910					岡崎 才蔵	
0911					熊木 建郎	
0912					石脇 慶總	
0913					五百旗頭 博治	
0914					E. Rucker	
0915					枝村 茂	
0916					W. Dunphy	
0917					寺尾 総一郎	
0918					鳥巢 義文	
0919					寺尾 総一郎	
0920					鳥巢 義文	
0921	石橋 泰助					
0922	R. Szimpl					
0923	J. Schubert		再1 (前期)			
0924	J. Schubert		再2 (後期)			

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0941	キリスト教思想Ⅱ	3	必	2	青山 玄	
0942					J. Van Bragt	
0943					木下 登	
0944					長倉 久子	
0945					吉田 聖	
0946					石黒 秀嗣	
0947					蒔 苗 暢夫	
0948					渡 邊 頼純	
0949					M. Calmano	
0950					村 越 好男	
0951					森 茂也	
0952					保 呂 篤彦	
0953					W. Dunphy	(前期)
0954					C. Pavón	
0955					L. Hanzel	
0956					D. Mayer	(前期)
0957					青山 玄	
0958					J. Van Bragt	
0959					木下 登	
0960					長倉 久子	
0961	石黒 秀嗣					
0962	渡 邊 頼純					
0963	M. Calmano					
0964	村 越 好男					
0965	森 茂也					
0966	保 呂 篤彦					
0967	P. LaForge	(前期)				
0968	石 脇 慶 總	再1 (前期)				
0969	石 脇 慶 總	再2 (後期)				

【キリスト教思想Ⅰ】

講義概要

0901 キリスト教思想Ⅰ（必・2年次・2単位・通年） 石橋 泰助
0921

キリスト教神学思想史

来るべき21世紀に最も必要とされる国際的教養人としての見識を備えるために、キリスト教思想の源泉と発展の経緯を体系的に把握しておくことは極めて重要である。本講義は、キリスト教思想の源泉である新約聖書と、キリスト教思想の発展に決定的役割を果たした歴史上の、また現代の思想家を取り上げ、その神学思想のエッセンスを紹介する。

0902 キリスト教思想Ⅰ（必・2年次・2単位・通年） 岡崎 才蔵
0910

講義の目標は大きく分けて二つである。一つは新約聖書時代の概説と他はマルコ福音書を中心にしたキリスト論である。前期でキリスト教の誕生と新約聖書が形成された時代を概観する。後期ではマルコ福音書を讀本として使用しながら、そのキリスト論を紹介する。従って、後期は新約聖書を授業に持参すること。

0903 キリスト教思想Ⅰ（必・2年次・2単位・通年） 石脇 慶總
0912

キリスト論

[副題] 横からのキリスト論

ナザレのイエスと呼ばれた男が、どのようにして、キリスト教神学の「キリスト論」の主題となって行ったか。初期キリスト教団の「信仰」の「展開」を出来るだけ客観的に眺めていく。実証的、歴史的研究を踏まえながら、主として「カトリック教義神学」的観点から理論的な解明を試みる。

0904 キリスト教思想Ⅰ（必・2年次・2単位・通年） E. Rucker
0914

キリスト論

イエズスとキリスト教の起源・史的人物としてのイエズス・新約聖書の成立・イエズスの価値観・イエズスの終末的な世界観・イエズスによっての救い・イエズスの父なる神・イエズスの死の特徴・新約聖書によるイエズスの復活・イエズスに対しての同時代と後代の人々の判断

テキスト：聖書とパンフレット

0905 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) W. Dunphy
0916

イエスと福音書

福音書の成立を説明し、四福音書記者の見方を通して、歴史的イエスの生涯(教えと行い)を調べていきたい。

テキストは聖書を使用。

0906 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) R. Szimpl
0922

キリスト論

聖書の成立を紹介した後で、イエスの生涯と教えを考察する。聖書を読みながら、史的人物としてのイエス、受肉、復活、奇跡物語、山上の説教、譬え話などに触れ、最後にイエスに対する信仰の成立をたどる。

テキスト：聖書

0907 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 熊木建郎
0911

キリスト論

キリスト教にとっての聖書の意義などについて述べた後、現代新約学の批判的研究をふまえて、イエスの生涯と教えについて新約聖書を読みながら考察する。

テキスト：『聖書』(旧約と新約を含む)

0908 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 枝村 茂
0915

福音書の伝達しようとしている、歴史のイエス像とその使命を浮彫りにするため、イエスが宣べ伝え、確立しようとした神の国の内実を、その背景にある旧約聖書、イスラエル教の歴史の流れに沿って解明する。

0909 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 五百旗頭 博治
0913

1. 共観福音書へのイントロダクション：文献批判的・様式史的・編集史的研究等について。
2. 山上の説教と平地の説教、キリストの受難と死、復活等に関する聖書のテキストを読む。
3. 補足的、連関的にアウグスチヌスやトマス・の聖書解釈、カトリック教会の神学思想・自然法思想等について触れる。

テキスト：聖書

0917 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 寺尾 総一郎
0919

キリスト論

1. イエスの弟子たちは、なぜ、彼が神であると信じるようになったのかを新約聖書を通して考える。
2. イエスは、彼の時代的・場所的背景のもとで生きたのに、なぜ、今日まで、そして諸民族の中に、彼を神と信じる人々がいるのかを適宜、聖書以外の文献も見ながら考える。
3. イエスを神と信じる者(クリスチャン)は、現代社会において、そして現代的課題の中で、どのように生きるように説いているのか、おもにカトリック教会の指導者たちの教書を見ながら考える。

0918 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 鳥巢 義文
0920

キリスト論

本講義においては、下記の諸項目のもと、イエス・キリストについて学び、考えて行く。

1. 福音書解釈上の手続きと諸問題
2. イエスの歴史的状況
3. イエスの思想とわざ
4. キリスト教信仰の成立

なお、講義中に「聖書」を使用するので、準備しておくように。

【再履修者用】

0923 キリスト教思想 I (必・2単位・前期・後期・再履修者用) J. Schubert
0924

イエズス・キリストの世界的使命

前期において、イエズス・キリストの生涯を福音書と視聴覚教材をもって説明し、イエズス・キリストの本質、その教え、及び使命を詳細に分析する。

後期において、現代社会に於ける教会の役割、特に正義と平和の使命を洞察し、開発途上国に対する先進諸国の責任にまで触れる。

テキスト：新約聖書及び現代世界憲章

【キリスト教思想Ⅱ】

講義概要

0941 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 青山 玄
0957

現代教会史

近代と現代との境界線をどこに引くかは、意見の分かれる難しい問題であろうが、ここでは20世紀初頭以降を現代と見て、この激動する現代世界の中で、ローマ教皇をはじめカトリック者がどのように考え、長いキリスト教の伝統をどのように現代社会の中で生かそうとして来たか、という思想的変遷について考究する。後期には、特に第二ヴァチカン公会議とその後の教会の動きについて考察する。教材は、講義の時にプリントで配布する。

0942 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) J. Van Bragt
0958

「日本の諸宗教とキリスト教」

キリスト教の要点を、日本の諸宗教の教理との比較の上で説明する。

日本人の宗教心の特徴とは何か。宗教学的立場からそれを探究してから、その宗教心やその中に含まれている考え方と、キリスト教との共通点や相違点を調べる。主として次のところにおいて研究していく。

- キリスト教の神—仏教の法—神道の神々
- イエズス・キリスト—釈尊・アミダ如来・親鸞……
- キリスト教、仏教、神道の人生観
- キリスト教、仏教、儒教の倫理

0943 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 木下 登
0959

スペインの精神文化

スペインを理解するにあたって不可欠の要素の一つとして「スペイン人の宗教思想」があげられる。3人の代表的宗教思想家の研究を通してスペインの精神文化への接近を試みる。

テキスト：P. シモン、木下登 編著『ミゲル・デ・ウナムーノ —その思想的ひらめき—』(1988)

0944 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 長倉久子
0960

神の存在について

神はいるのだろうか、いないのだろうか。神がいる(いない)ことはどのように「証明」できるのだろうか。もし神がいるのであれば……もし神がいないのであれば……。私にとって神とは何であるのか、何でないのか、を考えてみよう。

0945 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 吉田聖

南アフリカにおけるキリスト教の挑戦

今、世界中の注目を浴びている南アフリカ共和国、特にアパルトヘイトの現状と、その完全撤廃を目指して挑戦しているキリスト教について。テーマは、1. 福音とは何か、2. 聖書における罪、3. 十字架につけられた民、4. 体制のベールを剥がす、5. 南アにおける罪と有罪性、6. 聖書における救い、等々11項目。ただし、時々、読書形式でテーマに関するレポートの提出を求める。

教材：A・ノーラン著 吉田聖訳『南アフリカにいます神——福音の挑戦』

南窓社(1993年3月出版予定。予価3,800円)

0946 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 石黒秀嗣
0961

キリスト教神秘思想の源流

人間は、神を求めると同時に人間の存在の根拠を求めそこに究極の幸福を求めてきた。神秘思想家は、神について知るだけでは満足しない。神との直接的接触を探究し、これを経験することを常に渴望するのである。このような「熱烈なる神への愛」は、古代ギリシア世界では「エロース」としてプラトン哲学に展開される。一方キリスト教世界では「愛(アガペー)」という新しい意味を持つことになる。そこには神に関する「神は愛なり」という新しい教えがあり、神の愛による魂の救いが説かれるのである。本講義ではキリスト教神秘思想の源流を古代・中世思想に求め、キリスト教的愛の分析と現代的意義について考察する。

教材は、講義の時にプリントで配布する。

0947 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 蒔苗暢夫

現代世界とキリスト教

公会議の歴史を、教義の確立、その哲学的背景という観点から概観し、第二バチカン公会議の位置づけを行い、そこに於て承認され公布された憲章、宣言及びその後公にされた回勅その他の諸決定を手がかりに、現代世界のかかえる諸問題「無神論」「婚姻と家庭」等々について、教会はどのように考え、何を期待し、何を為しているかを考察する。

参考文献：南山大学監修『第二バチカン公会議文書解説叢書』、『第二バチカン公会議公文書全集』（中央出版社）
デンツィンガー『カトリック教会文書資料集』（エンデルレ書店）

0948 キリスト教思想Ⅱ（必・3年次・2単位・通年） 渡邊 頼 純
0962

キリスト教における「愛」のメッセージ

現代を生きる私たちにとって最も切実な問題は「愛」ではないでしょうか。友だちや恋人どうし、結婚してからの夫婦の愛や子供への愛など、人生のあらゆる段階で絶えず問われ続けるテーマとしてこの「愛」の問題があるような気がします。生きることに密接に関連した「愛」についてキリスト教はどのようなメッセージを私たちに送ってきているのでしょうか。

本講義では「愛」について学生諸君と一緒に考え、「愛」についての sensitivity を磨きたいと思います。前期には、百瀬文晃『キリスト教に問う、65のQ&A』（女子パウロ会、1992年）を用いてキリスト教の概観を把握し、後期にはより具体的にエロスとアガペー、愛とセックスの問題等に取り組んでみたいと考えています。

参考文献：ペトロ・ネメシェギ、『キリスト教とは何か』（女子パウロ会、1991）
千葉茂樹編著『マザー・テレサとその世界』（女子パウロ会、1990）

0949 キリスト教思想Ⅱ（必・3年次・2単位・通年） M. Calmano
0963

「人間の自由」は昔から宗教・哲学の論点になっているだけではなく、学校教育の実践的な問題にもなっている。教育における「自由」についてのいくつかの具体的な問題を検討した後、数人の教育学者（P. Freire, I. Illich）とキリスト教（特に旧、新約聖書）の自由観を紹介する。なお、英語の文章を含む資料集を使うが、講義を日本語で行う。

0950 キリスト教思想Ⅱ（必・3年次・2単位・通年） 村越 好 男
0964

経済生活と愛の教え

「人はパンのために生きるにあらず」（マタイ4：4）とは聖書のある名言である。確かにパンなしでは人は生きられないのだが、よく生きるという基本文脈において経済生活はその意味を十分に持つのである。そこで、愛の教え、特に「人間の尊厳のために」という視点から、よく生きることに経済生活との関連性について経済思想的にアプローチし、アリストテレス、トマス・アクィナス、アダム・スミスそしてカトリック社会論を考察する。

参考文献：野尻武敏著『人間社会の基礎』（晃洋書房）

0951 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 森 茂 也
0965

カトリック社会論——働くことについて——

労働組合運動を提起したことで一般にも知られる教皇レオ13世の回勅『レーラム・ノヴァールム』(1891年)以来の歴代教皇の「社会回勅」にみられる社会教説の検討を通じ、キリスト教の労働観、広くは「働くこと」について考察する。

テキスト：沢田和夫訳。教皇ヨハネ・パウロ二世『働くことについて』(カトリック中央協議会、1982)

0952 キリスト教思想Ⅱ (必・2年次・2単位・通年) 保 呂 篤 彦
0966

現代とキリスト教倫理

現代社会が抱えている諸問題に直面して、キリスト教倫理が私たちにいかなる指針を与えうるかを考える。

その際、諸々の世俗の倫理思想や他の諸宗教(仏教、儒教等)の倫理をも合わせて考察し、それらとの比較でキリスト教倫理の特徴を明らかにするよう努めたい。

0953 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・前期) W. Dunphy
(英 語)

Christian Ethics in the Market-Place.

Business involves decision-making. Decision-making involves responsibility and consequences. In the complexities of modern business, the connection between personal responsibility and consequence is frequently over-looked, or replaced by an impersonal corporate responsibility in which, paradoxically, everybody is praised when there is success, but nobody is blamed when there is failure. In this course we will examine what Christian ethics has to say to a society built on such principles.

Class will be conducted in English, and required reading material (in English) will be distributed in class.

0954 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) Carmen Pavón
(イスパニヤ語)

EL MENSAJE CRISTIANO HOY

¿Qué puede decirnos Cristo a los hombres y mujeres de hoy?

A la luz del Nuevo Testamento vamos a tratar los problemas del mundo actual y responder a esa pregunta que hemos planteado.

Nadie puede quedar excluido de la responsabilidad que tiene como

ciudadano del mundo.

Las classes serán en español y se pedirá una participación activa.

- 0955 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) L. Hanzel
(英 語)

In this class we will read and discuss selected passages from the New Testament. We will focus on those important principles of life by which we all should live. Discussions of closely related religious and moral topics will also be an important part of this course.

- 0956 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・前期) D. Mayer
(英 語)

The Bible and Art

Ordinary English speech and writing often contains allusions to the Bible. Literary works have titles, if not entire themes, related to the Bible. Western painting and sculpture have represented Biblical situations and themes for centuries.

In this course we will read passages from the bible which have been selected because of their influence on art. The text has notes in Japanese to explain the context of the passage and specific unusual words. In the class, after an explanation of the Biblical passage, paintings illustrating the passage will be shown.

This one-semester course is suited for those who plan to study abroad as well as for those who intend to tour Europe with its many museums and churches filled with works of Christian art.

PREREQUISITE : Since the classes, weekly written impressions, and examinations will be in English, non-English majors MUST consult the teacher (in English) before registering for the course.

Text : *The New English Bible: A Literary Selection.* (Oxford-Japan)

- 0967 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・前期) P. LaForge
(英語)

Foundations of Business Ethics

The purpose of the course is to apply traditional christian principles to modern business ethics. This will be accomplished through a number of class activities, for example, small group discussions. Reflection on these exercises will lead to an understanding of christianity as

operative in the modern business world. The class will be conducted only in English.

Other Examples of Class Activities are:

1. An introduction to Non-Discursive and Discursive Meditation.
2. Breathing Exercises and Focusing.
3. Bible Study.
4. Educational, Business, and Marriage Contracts.
5. The social dimension of business ethics.

【再履修者用】

0968 キリスト教思想Ⅱ (必・2単位・前期・後期・留学帰国者；再履修者)

0969

石 脇 慶 總

「福音的信仰の実践としての共同体倫理」

イエスの福音的信仰が、単なる観念的なイデオロギーでない以上、それは、吾々の日常生活の中で、吾々を生かすはずである。人間の生活は、基本的に共同体的である。孤立した個人のための「救い」は、考えられない。人間は、共同体として救われ、若しくは、救われない。それ故、吾々は、人間共同体を単に、個人倫理の「場」として捉えるだけでなく、更に積極的に倫理の主体そのものとして捉え、それが、倫理的に「善」であるためには、どのような条件が必要であるか、などを探究する。
受講者による討論を受講条件とする。

共通専門教育科目 履修要項

1. 共通専門教育科目は、各学部学生が3・4年次において履修することができる。
2. 共通専門教育科目の履修によって取得できる単位の扱いについては、各学部の定めるところによる。

科目 コース	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0984	音楽概論 音楽鑑賞による音楽美 の創造性を追求	3・4	※	4	水谷 昌平	
0986	生態学	3・4	※	4	阿江 茂	
0987	キリスト教音楽 死者のためのミサ曲 (Requiem)	3・4	※	4	W. Dunphy	
0991	運動生理学 運動とからだのはたら きについて	3・4	※	2	岩見 恒典	後期
0992	運動学習の心理	3・4	※	2	寺田 邦昭	前期
0993	スポーツ史 身体運動の組織化にお けるヨーロッパと日本	3・4	※	2	榎本 鐘司	後期
0994	基礎身体運動学 身体の動きを科学する	3・4	※	2	三浦 修史	前期
0995	応用身体運動学 選手のためにスポーツ を科学する	3・4	※	2	三浦 修史	後期
0996	体育・スポーツ経営学 運動の生活化のために	3・4	※	2	中路 恭平	前期

※ 文学部学生は自由科目、外国語学部生の英米科、イスパニヤ科生は随意科目、日本語学科生は自由科目、経済学部学生の88生以前は随意科目、89生以降は自由科目、経営学科学生は自由科目、情報管理学科学生の89生以前は自由科目、90生以降は随意科目、法学部学生は随意科目として履修することができる。(各学部履修要項参照)

(注) これらの科目は教職関係科目として履修することはできない。

講義概要

0984 音楽概論 (※・3・4年次・4単位・通年) 水谷昌平

音楽鑑賞による音楽美の創造性を追求

音楽には作曲・演奏・鑑賞という三つの活動がふくまれている。その三つの音楽活動のもつ創造性について考察し、音楽の美を構成する精神美・形成美・感覚美等について、また音楽の種類について宗教音楽・絶対音楽・歌曲・標題音楽・歌劇などを音楽史的、音楽理論的、音楽様式的な面から考察し、音楽鑑賞活動の面における理解的創造性を追求していきたい。

0986 生態学 (※・3・4年次・4単位・通年) 阿江茂

自然保護、環境の保全、環境アセスメントの基礎として、現在における環境にかかわる諸問題を理解するためには、人類がその生活の場としている地球の自然環境について知らなければならない。この講義は主として日本と南アジアにおける現在の“環境の保全”等の実際の問題を参考にしつつ、自然環境について基礎的な理解を与えることを目的とする。

高校教育を基礎として講義を行うので、これまでに一般教育の生物学を履修していることを必要としないが、専門領域まで進むので、生物学に十分興味を持つていることが望ましい。なお、総合Ⅱ“人間と環境”と基礎的な部分は重複するが、くりかえし学習することはさしつかえない。希望する学生には自然環境についての環境アセスメントの基礎を実習指導する。

0987 キリスト教音楽 (※・3・4年次・4単位・通年) W. Dunphy

死者のためのミサ曲 (Requiem)

グレゴリオ聖歌の死者のためのミサ曲から、A. Lloyd Webber の Requiem まで、Mozart, Berlioz, Britten などの有名なミサ曲がたくさん残っている。

そのテキストを理解した上で、ミサ曲を聞きながら、それぞれの時代の死に対する西洋思想が、どのように音楽を通して現われてきたのかを調べてゆきたい。

場合によってはキリスト教音楽 (Magnificat, Stabat Mater など) をも紹介する。

0991 運動生理学 (※・3・4年次・2単位・後期) 岩見恒典

運動とからだのはたらきについて

人間が何らかの運動をしようとする場合には、運動を支配する機能として神経系が、運動を発現させる機能として筋や骨格が、そして、運動を持続させる機能として呼吸・循環系が関与することになる。このように、運動生理学の対象となる課題は広い範囲に及んでいるが、ここでは、これらの機能のうち、いくつかについて、

受講者が相互に検者・被検者となって、測定や検査を行い、これまでに報告されている研究成果との比較検討を中心に、科学的態度を身につけると同時に健康や体力の保持・増進について、生理的側面から考察したい。(実習が中心となるので受講者数は約20名に限定する。)

- 0992 運動学習の心理 (※・3・4年次・2単位・前期) 寺田邦昭
テニス(雨天時はバドミントン)を教材として、運動技術の習得にかかわる心理学的諸問題について実験・実習をします。具体的には運動学習における視知覚・運動感覚の役割。分習法・全習法、集中法・分散法など練習法と学習効果。メンタルプラクティス効果やフィードバック情報の利用法。その他、動機付けや見物効果、学習効果の転移、競争と協同、リーダーシップ、運動適性など、運動学習に関わりの深い心理学的事象についてのフィールド実験や測定を実施すると共に、併せてテニス・スキルの向上をも図ります。尚、単位数計算の基礎に基づき、授業は毎週3時間(土曜2～4時限)・半期とし、内1時間は講義、2時間を実施・実習に充てる予定です。また、受講者数は32名を上限とします。

- 0993 スポーツ史 (※・3・4年次・2単位・前期) 榎本鐘司
身体運動の組織化におけるヨーロッパと日本
ヨーロッパに関する講義ノートの一部を以下に掲げる。
中世末に、スポーツというほどに組織化された身体運動を伴う娯楽は、王の狩猟、トーナメントのさまざまなパリエーション、実用性をうしなつたアーチェリー、そして貴族たちが好んで行ったテニスといった所である。実用目的をもたず非日常的におこなわれる身体運動の多くは、まだまだ即興的な娯楽の段階にとどまっていた。

ルネッサンスは文芸の復興であるとともに、身体への関心の復興でもあり、少なくとも娯楽として行われる身体運動は罪悪視されるばかりではなくなった。ここから非日常的な身体運動の組織化がはかられていくことになる。ひとつは学校という枠組みの中でそれが国家的に教育内容として組織化され、もうひとつには、特殊な歴史的状況を持つイギリスにおいて社会的勢力であったジェントルマン、その同好の集りであるクラブという枠組みの中での組織化(まさにスポーツ化)であった。

- 0994 基礎身体運動学 (※・3・4年次・2単位・前期) 三浦修史
身体の動きを科学する

ほとんどのスポーツの演技は自分の身体を動かすか、あるいは外部の物体に運動を与えるかによってそれが成立している。したがって、動きは全てのスポーツ技術にとって基本的なものといえる。そして、これらの動きも基本的科学の法則や原理に支配されていることにスポーツの経験者なら気がつくことであろう。授業では、

これらの動きの基本法則や原理を学ぶとともに高速ビデオ動作解析装置を使用している実験実習を行う。

0995 応用身体運動学 (※・3・4年次・2単位・後期) 三浦修史

選手のためにスポーツを科学する

スポーツ演技の多くは単に身体や身体各部分が運動するという以上のものを含んでいる。たとえば、ボール、バット、ラケット、クラブなどの用具を操作するという場合、単に機械的動きというものではない。それらの用具をどの様に操作するかということが結果に影響を及ぼすのである。授業では、個人が興味を持つスポーツ技術を対象に合理的な動きとはどのようなものかを究明する。よって、スポーツ活動を行っている学生の受講を希望する。ただし、身体運動学、基礎身体運動学の履修を終えた者に限る。

0996 体育・スポーツ経営学 (※・3・4年次・2単位・前期) 中路恭平

運動の生活化のために

レジャースポーツ、健康スポーツがブームとなってきたとはいえ、日常的に運動をしている人はまだほんのひと握りにしかすぎない。運動の価値を認め運動欲求を持つ人が、運動の場に接近行動をとるか否かは、運動の場の条件に大きく影響される。運動の施設それ自体にも人を運動に向かわせる力はあるが、より継続的に望ましい運動の生活化を促進させるためには、様々な環境条件を設定する営みが必要となる。ここでは、そのような運動の場を提供するための理論と方法について検討する。

教職課程および
博物館学芸員養成課程

【教職に関する科目】

* 1989年度以前の入学生に適用

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9005 } 9008	教育原理 (A)	2	随	4	三上 茂	教育学科生に限り「教育学」及び「教育社会学」を以ってこれに充当できる。
	(B)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(C)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(D)	2	随	4	梅村 敏郎	同上
9025 } 9028	学校教育心理学 (A)	3	随	4	増田 末雄	「教育心理学」「青年心理学」と読みかえる
	(B)	3	随	4	増田 末雄	同上
	(C)	3	随	4	泉 ひさ	同上
	(D)	3	随	4	石田 裕久	同上
9031 } 9034	道徳教育の研究 (A)	4	随	2	荻原 克巳	中学校教員免許状取得には必修(前期)
	(B)	4	随	2	荻原 克巳	同上(後期)
	(C)	4	随	2	梅村 敏郎	同上(前期)
	(D)	4	随	2	梅村 敏郎	同上(後期)
9051 } 9054	英語科教育法 (A)	3	随	4	田中 春美	文学部英文学科向
	(B)	3	随	4	丹下 省吾	文学部向(但し英文学科を除く)
	(C)	3	随	4	田中 春美	外国語学部向
	(D)	3	随	4	丹下 省吾	同上
9061	フランス語科教育法	3	随	4	M.-A. Morita 倉田 信子	(前期) (後期)
9065	ドイツ語科教育法	3	随	4	原田 武雄	
9071	イスパニヤ語科教育法	3	随	4	高橋 覚二	
9075	国語科教育法	3	随	4	武山 隆昭	
9081	宗教科教育法	3	随	4	景山 あきこ	隔週
9085	社会科教育法	3	随	4		
9091	商業科教育法 A	3	随	2	安藤 明之	} A・B両科目とも履修すること } A:前期 } B:集中
9092	商業科教育法 B	3	随	2	安藤 明之	
9041	生徒指導論 (A)	3	随	2	荻原 克巳	前期

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9042	生徒指導論 (B)	3	随	2	荻原克巳	前期
9045	教科外指導論 (A)	3	随	2	荻原克巳	後期
9046	(B)	3	随	2	荻原克巳	後期
9000	教育実習	4	随	2	教職課程委員会	

【教職に関する科目】

講義概要

- 9001 教育原理（A）（随・2年次・4単位・通年） 三上 茂
主として現代の中等教育の理解に資するという観点から、教育の基本構造、目的、制度、内容、方法、さらに教師、学校教育に関わる法規などの概観を試みる。
使用テキスト：教師養成研究会編『教育原理』学芸図書株式会社
- 9002 教育原理（B）（随・2年次・4単位・通年） 荻原克巳
9003 教育原理（C）（随・2年次・4単位・通年） 荻原克巳
学習指導、生活指導、特別活動、学級経営、教師論など「教育経営・実践」を中心に論究する。
使用テキスト：教師養成研究会編『教育原理』学芸図書株式会社
- 9004 教育原理（D）（随・2年次・4単位・通年） 梅村敏郎
教職志望者に対して教育に関する基本的理解を与えることを主眼として、教育の本質、中等教育の目的及びカリキュラム、教師の使命と教員養成制度の変遷等のテーマについて論究する。
- 9025 学校教育心理学（A）（随・3年次・4単位・通年） 増田末雄
9026 学校教育心理学（B）（随・3年次・4単位・通年） 増田末雄
学校教育心理学の理解を深めるために次の項目について概説をする。
1. 学校教育心理学とは 2. 幼児・児童・青年の心身の発達についての理解
3. 学習の原理及び学習指導について 4. 人格と適応 5. 学級集団 6. 教育評価
7. 教育機器と教育工学 8. 教師の心理
- 9027 学校教育心理学（C）（随・3年次・4単位・通年） 泉 ひさ
幼児、児童、青年の心身の発達的特徴及び学習過程について考察する。一方リポートの発表及び討議を行う。
テキスト：鈴木清、深山富男、伊吹昌夫共編『教育心理学概説』（ミネルヴァ書房）
- 9028 学校教育心理学（D）（随・3年次・4単位・通年） 石田裕久
教育心理学の中心的課題である「子どもの心身の成長・発達」および「学習」の諸過程について理解を深めるとともに、教育の指導・方法にかかわるさまざまな問

題についても解説を加える。

テキスト：神谷他編 テキスト教育心理学（福村出版）

9031 道徳教育の研究（A）（随・4年次・2単位・前期） 荻原克巳

9032 道徳教育の研究（B）（随・4年次・2単位・後期） 荻原克巳

道徳教育の基本的な問題としての社会化と人格化について種々の側面から検討していく。

使用テキスト：『中学校指導書—道徳編—』文部省

9033 道徳教育の研究（C）（随・4年次・2単位・前期） 梅村敏郎

わが国の近代学校における道徳教育の歴史を概観し、さらに『中学校指導書—道徳編』（文部省）の示す道徳教育の目標、内容、指導計画の作成、指導方法等について検討する。

9034 道徳教育の研究（D）（随・4年次・2単位・後期） 梅村敏郎

道徳教育に関する古典的著作もしくは注目すべき論文を取り上げ、学校における道徳教育の基本的在り方を考究する。

9051 英語科教育法（A）（随・3年次・4単位・通年） 田中春美

前期は、主としてテキストを読みながら、教授法を中心として言語研究と外国語教育のかかわり方を考える。後期は、前期のテーマが終わりしだい、教案の書き方、評価の問題、文部省の指導要項、教育機器の扱いなどに触れる。前後期の定期試験のほか、数回のレポートを要求する。出席は極めて重視される。

テキスト：後日指定

9052 英語科教育法（B）（随・3年次・4単位・通年） 丹下省吾

「英語教育の理論と実践を扱う。」

外国語教育の目的と国際語としての英語の位置付け、外国語教授理論の変遷、英語科教育の現状の認識と問題点の検討、各技能の指導の実際。

講義に加えて、教室作業や課題提出を随時求める。出席重視。

テキスト：土屋澄男著『英語科教育法入門』（研究社出版）

9053 英語科教育法（C）（随・3年次・4単位・通年） 田中春美

教授法の歴史、カリキュラム作成の諸問題、4技能それぞれの指導法などを主要テーマとし、合わせて教育機器・評価（特にテスト作成）などの問題にも触れたい。出席と前期試験、数回のレポート提出が必須条件。

テキストはその都度指定する。

9054 英語科教育法 (D) (随・3年次・4単位・通年) 丹下省吾
外国語教育の目的、教授理論の変遷、英語科教育の現状の認識と問題の所在、学習と指導に関する諸問題など、英語教育の理論と実践を扱う。

講義に加えて教室作業や課題提出を随時求める。出席を重視。

テキスト：土屋澄男著『英語科教育法入門』（研究社出版）

9061 フランス語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 前期 M.-A. Morita
後期 倉田信子

181頁参照。

9065 ドイツ語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 原田武雄

194頁参照。

9071 イスパニヤ語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 高橋覚二

9075 国語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 武山隆昭

206頁参照。

9081 宗教科教育法 (随・3年次・4単位・隔週) 景山あきこ

111頁参照。

9091 商業科教育法A (随・3年次・2単位・前期) 安藤明之

395頁参照。

9092 商業科教育法B (随・3年次・2単位・集中) 寺島明之

395頁参照。

9095 数学科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 小野貴生

431頁参照。

9041 生徒指導論A (随・3年次・2単位・前期) 萩原克巳

9042 生徒指導論B (随・3年次・2単位・前期)

「社会化」という観点から、児童・生徒の積極性、協調性といった社会的、対人的態度の形成、および学級内の望ましい人間関係育成のための具体的方策について論じる。また適性という点からみた進路指導の問題についてもふれる。

使用テキスト：『生徒指導の手引』（改訂版）文部省

- 9045 教科外指導論A (随・3年次・2単位・後期) 荻原克巳
9046 教科外指導論B

教科活動以外の特別諸活動を通じての自主的・社会的態度の育成、そのためのグループ活動の指導のあり方等について具体的に解説する。

使用テキスト：『中学校指導書—特別活動編—』文部省

- 9000 教育実習 (随・4年次・2単位)

次頁参照。

教育実習指導

教育実習は2週間の実習と水・土曜日の午後、あるいは月・火・木・金曜日の9・10時限に行われる教育実習指導(講義形成)により構成される。授業日については別途通知するので必ず出席すること。

テキスト：教師養成研究会編『教育実習の研究』(学芸図書株式会社)

【教職に関する科目】

* 1990年度以降の入学生に適用

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9005 } 9008	教育原論 (A)	2	随	4	三上 茂	教育学科生に限り「教育学」及び「教育社会学」を以ってこれに充当できる。
	(B)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(C)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(D)	2	随	4	梅村 敏郎	同上
9025 } 9028	学校教育心理学 (A)	3	随	4	増田 末雄	
	(B)	3	随	4	増田 末雄	
	(C)	3	随	4	泉 ひさ	
	(D)	3	随	4	石田 裕久	
9031 } 9034	道徳教育の研究 (A)	4	随	2	荻原 克巳	中学校教員免許状並びに高校地歴又は公民免許一方のみを取得するには単位数の都合上必要 (前期)
	(B)	4	随	2	荻原 克巳	同上 (後期)
	(C)	4	随	2	梅村 敏郎	同上 (前期)
	(D)	4	随	2	梅村 敏郎	同上 (後期)
9051 } 9054	英語科教育法 (A)	3	随	4	田中 春美	文学部英文学科向
	(B)	3	随	4	丹下 省吾	文学部向 (但し英文学科を除く)
	(C)	3	随	4	田中 春美	外国語学部向
	(D)	3	随	4	丹下 省吾	同上
9061	フランス語科教育法	3	随	4	M.-A. Morita	(前期)
					倉田 信子	(後期)
9065	ドイツ語科教育法	3	随	4	原田 武雄	
9071	イスパニヤ語科教育法	3	随	4	高橋 覚二	
9075	国語科教育法	3	随	4	武山 隆昭	
9081	宗教科教育法	3	随	4	景山 あきこ	隔週
9085	社会科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	夏期集中
9087	地理歴史科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	前期
9088	公民科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	後期

※

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9091	商業科教育法 A	3	随	2	安藤明之	} A・B両科目とも履修すること A:前期 B:集中
9092	商業科教育法 B	3	随	2	寺島鎮雄	
9095	数学科教育法	3	随	4	小野貴生	
9041	生徒指導論 (A)	3	随	2	荻原克巳	前期
9042	(B)	3	随	2	荻原克巳	前期
9045	教科外指導論 (A)	3	随	2	荻原克巳	後期
9046	(B)	3	随	2	荻原克巳	後期
9010	教育実習指導 (教育実習を含む)	4	随	3	教職課程委員会	

※ 社会科・地理歴史科・公民科の免許状を取得予定の学生は履修教科を次の表の組合せに従って登録すること。

90年以降入学生

組合せ \ 科目	道徳	社会	地歴	公民
社会 (中学)	○	○	/	/
地歴 (高校)	○	/	○	/
公民 (高校)	○	/	/	○
地歴+公民 (高校)	○	/	○	○
社会+地歴+公民	○	○	○	○
社会+地歴	○	○	○	/
社会+公民	○	○	/	○

【教職に関する科目】

講義概要

- 9005 教育原論（A）（随・2年次・4単位・通年） 三上 茂
9001「教育原理（A）」514頁参照。
- 9006 教育原論（B）（随・2年次・4単位・通年） 荻原克巳
9002「教育原理」（B）514頁参照。
- 9007 教育原論（C）（随・2年次・4単位・通年） 荻原克巳
9003「教育原理」（C）514頁参照。
- 9008 教育原論（D）（随・2年次・4単位・通年） 梅村敏郎
9004「教育原理（D）」514頁参照。
- 9085 社会科教育法（随・3年次・2単位・夏期集中） 加藤 瑛二
教員免許法改正に伴う教科で、中学校社会科免許状取得のための必須教科である。中学校の現状を念頭に、地理・歴史・公民的分野全般について講義形式で行なう。集中講義のため、あらかじめ4月に「中学校学習指導要領、社会科編 文部省平成元年」を用意しておくことが望ましい。
- 9087 地理歴史科教育法（随・3年次・2単位・前期） 加藤 瑛二
教員免許法改正に伴う新設教科で、高等学校地理歴史科免許状取得のための必須教科である。高等学校地理・歴史科教育に対応するため、地歴の教材研究を中心として実践の内容を学習し、模擬授業による発表形式を加える。
- 9088 公民科教育法（随・3年次・2単位・後期） 加藤 瑛二
教員免許法の改正に伴う新設教科で、高等学校公民科免許状取得のための必須教科である。高等学校公民科教育に対応するために、教材研究を中心として実践的な内容を学習し、模擬授業による発表形式を加える。

以下514～517頁に記載。

【博物館に関する授業科目】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9005 9008	教育原論 (A)	2	随	4	三上 茂	89年度以前入学教育学科生「教育学」を以って充当できる 90年度以降入学教育学科生「教育学」及び「教育社会学」を以って充当できる
	(B)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(C)	2	随	4	荻原 克巳	同上
	(D)	2	随	4	梅村 敏郎	同上
9101	* 博物館学	2・3	随	4	早川 正一	博物館に関する科目
9111	* 社会教育概論	2・3・4	随	2	広瀬 鎮	博物館に関する科目 後期
9115	* 視聴覚教育	2・3・4	随	2	高桑 康雄	博物館に関する科目 集中
9105	* 博物館実習 (a)	3・4	随	3	重松 和男	博物館に関する科目
9106	* 博物館実習 (b)	3・4	随	3	重松 和男	博物館に関する科目

* 卒業に必要な単位に算入されない。

教育原論の講義概要については「教職関係科目履修要項」(514頁)を参照。

【博物館に関する科目】

- 9101 博物館学 (随・2・3年次・4単位・通年) 早川 正一
博物館の現代的意義を根本的に把握するために先進的な欧米の博物館事業に関する発達の足跡を検討するとともに、昨今の日本における多様な博物館活動や博覧会開催の影響にも言及して博物館の基礎概念を培う。
- 9111 社会教育概論 (随・2・3・4年次・2単位・後期) 広瀬 鎮
生涯学習論に立った現代社会教育の構造を明らかにする。とくに我国社会教育の史的発展を海外の社会教育の発達史と比較し、社会教育の機能についてふれる。博物館、図書館、その他社会教育施設における専門職員、社会教育計画、学習実践について学外授業(交通費各自負担)を含め、社会教育の本質に迫まる。
- 9115 視聴覚教育 (随・2・3・4年次・2単位・集中) 高桑 康雄
現代における生涯教育の重要性に視点を向け、現代社会の一特徴である視聴覚メディアの意義を考えるとともに、それが生涯教育のための一手段として、どのように活用されるべきかを論ずる。なお、それらの理解を深めるため、放送局や視聴覚ライブラリー、関連する博物館等の見学と検討を学外授業(交通費各自負担)として実施する。
- 9105 博物館実習^(a) (随・3・4年次・3単位・通年) 重松 和男
9106 博物館実習^(b)
本学の人類博物館(G棟地下)において行う。カード目録の作成、説明文、写真、パネル等の作成が中心になる。この他、博物館見学旅行を年一回(1泊2日程度、交通費・宿泊費等各自負担)実施し、参加を義務づけている。
なお、平成5年度 (a) 木曜3・4限は3年次生は履修不可。
(b) 木曜5・6限は3年次生のみ履修可。